# 長崎大学 核兵器廃絶研究センター年報 2019

Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)

Annual Report 2019

## 長崎大学

## 核兵器廃絶研究センター年報 2019

## 目 次

はじめに・想来の中での	核廃絶への持続的挑戦	1
比述の子での、	4人/元小G ~ ~ 2 1 1 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>1</u>
RECNA 活動報告	(2019年4月1日~2020年3月31日)	2
教員活動報告		
•吉田 文彦	センター長・教授	9
•鈴木 達冶郎	副センター長・教授	12
<ul><li>広瀬 訓</li></ul>	副センター長・教授	16
•中村 桂子	准教授	20
出版物(リンク集)		2 3
• J-PAND (Jou	rnal for Peace and Nuclear Disarmament)	
・RECNA ニュー	ーズレター	
· RECNA News	letter	
・RECNA ポリシ	<b>/ーペーパー</b>	
・政策提言書		
・RECNA 叢書		
活動報告(リンク集)		23
・2019 年度核兵	器廃絶市民講座「核兵器のない世界を目指して」(全6回)	
<ul><li>日韓共同ワーク</li></ul>	フショップ「朝鮮半島の平和から北東アジア非核化へ」	
・特別市民セミオ	f	
・RECNA 長崎被	<b>皮爆・戦後史研究会</b>	
• 運営委員会次第		
教育 (リンク集)		23
· 大学院核軍縮 ·	· 不拡散科目群	
<ul><li>全学モジュー/</li></ul>	レ「核兵器のない世界を目指して」	
ウェブサイト (リン	ク集)	24
・市民データベー	-ス	
・世界の核弾頭ラ	データ	
・世界の核物質ラ	データ	
<ul><li>レクナの目</li></ul>		

ナガサキ・ユース代表団(リンク集)	2 4
・募集概要	
・メンバー紹介	
・厳選ブログ集	
• 活動報告	
・活動紹介レポート	
報道記事	2 5
あとがき	3 0

<はじめに>

## 混迷の中での、核廃絶への持続的挑戦 ↑

吉田文彦 (RECNA センター長)

2019 年 4 月から、長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) のセンター長に就きました。 2012 年 4 月に RECNA が設立されてから、センター長は私で数えて 3 代目。これまでの 8 年間で RECNA は、「長崎を最後の被爆地に」との強い想いを背に受けながら、世界にも例を見ない核兵器廃絶に焦点をあてた研究・教育・社会貢献の拠点として成長してきました。

「温故知新」と言うにはまだ歴史が浅いかも知れませんが、そんな思いも込めて 2019 年 3月に、RECNA の歴史や現在をわかりやすく説明した「RECNA パンフレット」を作成しました。印刷物として多くの方々に送付するとともに、RECNA のウェブサイトにも掲載しています¹。その冒頭には以下のような記載があります。

2009 年のオバマ米大統領のプラハ演説は、世界中の人々に「核なき世界」へ向けた新しい時代の到来を感じさせました。特に被爆地長崎では、核兵器廃絶運動の中核を担ってきた被爆者の精神や、その願いを引き継ぐ組織の必要性が強く認識され、地域の問題意識に寄り添う市民のシンクタンク機能を果たす組織としてRECNAは2012年4月に誕生しました。その取り組みは、大きく(1)調査研究・政策提言、(2)教育・人材育成、(3)市民社会への情報発信の3つにわかれ、核兵器に依存しない安全保障の実現に向けて、日本政府や国際社会に具体的な政策提言を示すための研究を進めるとともに、次世代を担う若手の人材育成や、国内・外資料の整理、分析、情報発信にも力を入れています。

残念ながら、2019 年度は核軍縮・不拡散が混迷の度合いを深める 1 年間となりました。 それでも RECNA は、上記のような基本姿勢を念頭に置きながら、2019 年度もさまざまな研究・教育・社会貢献活動を重ね続けました。以下はそのご報告です。混迷の時期だからこそ、 核廃絶に向けて持続的に活動する RECNA の存在、役割が益々、重みを増している。この1年 を振り返って、そんな思いを強めております。

https://static.nagasakiebooks.jp/actibook\_data/z24\_20030100069\_recna/HTML5/pc.html

#### <RECNA 活動報告>

## RECNA 活動報告(2019 年 4 月 1 日~2020 年 3 月 31 日) ↑

#### §1 活動内容の報告

#### 概要:

2019 年度は核軍縮・不拡散が混迷の度合いを深める1年となった。2018 年に大きく前進した朝鮮半島非核化に向けた動きは、米朝・南北間の交渉が前向きな軌道に乗らない状態が続いた。米国とイランの間の武力行使もあり、イラン核合意の維持が一段と困難な事態となった。米ソ間で1987年に合意された中距離核戦力(INF)全廃条約が米国の離脱宣言をきっかけに失効した。

RECNA では、これらの動きに対して 7 月に「レクナ・ポリシーペーパーNo. 8 迷路に入った核軍縮:リスク削減に向けて」を刊行した<sup>2</sup>。北東アジアに関しては、韓国のシンクタンク・世宗研究所と共催で 6 月に日韓共同ワークショップ「朝鮮半島の平和から北東アジア非核化へ」をソンナム(韓国)で開催した<sup>3</sup>。ここでの議論をもとに、厳しい現状を踏まえながら、政策提言書「朝鮮半島の平和から北東アジア非核兵器地帯へ」を刊行した<sup>4</sup>。同ワークショップ開催、並びに政策提言は、「北東アジアの平和と安全保障に関する専門家パネル」(PSNA)の協力を得て実現したものだった。PSNA はメインの会合を開かず、共同議長によるインターネット国際会議を随時開催した。その会議に基づき、今年度は計7本のワーキングペーパーを発表した。

研究面では、科研費「グローバルな核リスク極小化に向けて:新たな理論構築と実践的政策提言」(吉田文彦教授主査)は2年目にあたり、研究を本格化させた。2017年度発足の「長崎被爆・戦後史研究会」は最終年にあたり、研究を総括するシンポジウムを2020年2月に開催した。今年度から「軍縮教育」をRECNAの研究の柱の一つに加え、国際基督教大学(ICU)との共同研究も始動させた。

発信・出版では、英文の国際学術誌「Journal for Peace and Nuclear Disarmament」(J-PAND)を引き続き重視している $^5$ 。順調に発表論文数を伸ばし、2019 年 7 月に第 2 巻第 1 号、同 12 月に第 2 巻第 2 号を発刊した。RECNA 叢書 5 として、「核兵器のある世界とこれからを考えるガイドブック」(中村桂子著、法律文化社、174 頁)を 3 月に刊行する契約をした(4 月に刊行された) $^6$ 。

教育面では、来年度から開講される多文化社会学研究科博士後期課程の核兵器廃絶・平和

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup> http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/39356/1/REC-PP-08.pdf

<sup>3</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/asia/jrj-workshop-20190522

<sup>4</sup> http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/39591/1/RECNA-PProp-2019-J.pdf

<sup>&</sup>lt;sup>5</sup> http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/j-pand/

<sup>6</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/publication/recnaseries

学系を主に RECNA が担当する。同系に 2 名が入学予定である。博士前期(修士)課程の核軍縮・不拡散科目群では 2 名が学位取得のうえ、2020 年 3 月に修了した。同科目群には同年4 月にも 1 名入学予定である<sup>7</sup>。学部では全学モジュールに貢献した。

長崎県、長崎市と連携した核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU 協議会、調会長) の事業では、 ナガサキ・ユース代表団 7 期生を 2019 年 5 月の NPT 再検討会議準備委員会に派遣した。核 兵器廃絶市民講座は年 6 回開催し、そのうち 1 回は佐世保で開いた<sup>8</sup>。核兵器廃絶地球市民 長崎集会に関しては、2020 年 2 月 23 日のパネルディスカッションに RECNA 教授陣が全面的 に協力した。

以下に、センター規則第3条に規定する業務分類に従って標記期間の活動を報告する。

#### (1) 調査·研究

- ●韓国のシンクタンク・世宗研究所と共催で 6 月 1 日~2 日に日韓共同ワークショップ「朝鮮半島の平和から北東アジア非核化へ」をソンナム(韓国)で開催した。ここでの議論をもとに政策提言書「朝鮮半島の平和から北東アジア非核兵器地帯へ」を刊行した。また、「北東アジアの平和と安全保障に関する専門家パネル」(PSNA) はメインの会合を開催せず、共同議長によるインターネット国際会議を定期的に開催した。その会議に基づき、世界でも有数の専門家にワーキングペーパーを依頼し、発行した。昨年度は 5 本、今年度も 2 月末までに 7 本のワーキングペーパーを発表した。論文はすべて、後述する学術誌「Journal for Peace and Nuclear Disarmament (J-PAND)」(『平和と核軍縮』)に掲載される予定である。
- ●昨年度より開始した科研費「グローバルな核リスク極小化に向けて:新たな理論構築と実践的政策提言」(吉田文彦教授主査)については、9月7~8日に東京にて全体会合を開催。研究の進捗状況を確認するとともに、今後の研究活動の方向性や出版計画について議論を行った。その一環として、「先端技術と核リスク」研究グループは戸田記念国際平和研究所や明治大学、日本パグウォッシュ会議等と協力して「安全保障と先端技術プラットフォーム」(Platform for Security and Emerging Technologies: PSET)を立ち上げ、12月15日に設立シンポジウムを開催した。科研費プロジェクトは2021年3月末まで継続する。

#### (2) 連携・協力

●長崎市・長崎県と連携した PCU 協議会の継続事業として、2019 年度は市民講座「核兵器のない世界を目指して」を 6 回開催し、うち 1 回は長崎県の要望により、佐世保市で開催した。その他に 2 回の特別市民セミナーを開催した<sup>9</sup>。後述の「ナガサキ・ユース代表団」

<sup>7</sup> 多文化社会学研究科博士後期課程の核兵器廃絶・平和学系に 2 名、博士前期(修士)課程の核軍縮・不拡散科目群に 1 名が入学した。

<sup>8</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu/lecture31

<sup>9</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.ip/recna/pcu/2019-2

事業も7期生9名をニューヨークで開かれた2020年NPT再検討会議第3回準備委員会に派遣し、帰国後報告会の開催、報告書の作成を行った<sup>10</sup>。ユース代表団の学生は各種の平和学習行事、特に非核宣言自治体協議会からの依頼で山形県、埼玉県、神奈川県、北海道などでも平和事業に参加した。さらに、長崎市とは長崎原爆死没者追悼祈念館が主催する Youth Conference in Nagasaki の開催にも協力した。

- ●韓国の大学・研究機関との連携:世宗研究所と連携したプロジェクトに力点を置いた。
- ●広島平和研等他大学との協力:広島市立大学広島平和研究所(HPI)とは、HPI、中国新聞とRECNAの3者共催国際シンポジウムを例年通り広島で、2019年12月14日に開催した。 RECNAからは吉田センター長がコメンテーターとして参加した。今年度も主に学生交流を目的とした内外の大学からの訪問が続いた。5月17日にはモラヴィアン大学(米国)、2020年1月15日には大洋州島嶼国との青少年交流など、ユース代表団のみならず長崎の大学生たちと交流を深めた。
- ●国連及び関連国際機関との協力:中満泉・国連上級代表(軍縮担当)が8月9日に長崎を訪問した際に、RECNA スタッフと意見交換した。今年度も国連軍縮フェローシップへの協力 (2019年9月30日、講演・会食:中村准教授、ナガサキ・ユース)を行うなど、国連軍縮局との協力関係は継続している。また、ニューヨークでのNPT準備委員会に合せて開催された平和首長会議主催のユース・フォーラムにおいてはナガサキ・ユースのメンバーによるプレゼンテーションを実施するなど、平和首長会議との連携も継続して進めた。
- ●RECNA は、長崎大学と包括連携協定を結んだ ICU と研究・教育両面での協力を 2019 年度から本格化させた。研究面では、「軍縮教育」(特に核軍縮・不拡散教育)での研究プロジェクトを立ち上げた。ICU と RECNA を中心とする共同研究チームが申請した科研費・基盤研究 (B)「日韓共同による軍縮・平和教育プログラムの作成・実践・評価:教育学的アプローチ」(2020-2022 年度)への交付が内定し、当該研究プロジェクトを始動させた。ICU 大学院と長崎大学多文化社会学研究科の間の他の二分野の研究プロジェクトも含めた学術シンポジウムを 2019 年 12 月 7 日、8 日に ICU にて共催した<sup>11</sup>。その内容は 2020 年度に書籍として刊行予定である。教育分野では、ICU 大学院と長崎大学多文化社会学研究科の単位互換制度をスタートさせ、長崎大学側からは RECNA 教員の担当科目を互換対象として提供した。
- ●外務省、長崎県・市等との協力:ナガサキ・ユース代表団7期生のニューヨーク訪問の際、メンバー9名が外務省から「ユース非核特使」を委嘱された。国際連合日本政府代表部ならびに長崎市の協力を得て、高見澤將林軍縮大使との面会を行った。高見澤氏は軍縮大使離任後の2020年3月17日、8期生メンバーの勉強会に講師として来崎の予定である。外務省が2017年に立ち上げた「核軍縮の実質的な進展のための賢人会議」のメンバーの一人として、朝長客員教授が参加した。10月に議論のまとめとなる議長レポートが外務省に提出された。

<sup>10</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/youth2019 vol.7 1.pdf

<sup>11</sup> http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/info/event/event1197.html

長崎県、長崎市とは PCU 協議会の活動を通じたものを含め、良好な協力関係を継続している。8月9日の長崎市平和宣言の作成に、朝長客員教授、梅林客員教授、鈴木副センター長が起草委員としてかかわった。平和式典「平和への誓い」代表者選定審査委員会には、三根客員教授、鈴木副センター長が委員として参加した。平和首長会議の副会長・理事都市である長崎市とは、軍縮教育の普及に向けた連携強化に向けた協議を進めている。関連して、2020年1月23日に平和首長会議の事務局を担う広島平和文化センターの小泉崇理事長とRECNAで意見交換を行った。

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が2020年2月10日~12日に初開催したYouth Conference in Nagasaki に広瀬副センター長、中村准教授がそれぞれ講師、コーディネーターとして貢献した。

- ●核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会では、朝長客員教授が委員長、鈴木副センター長が副委員長を務め、三根客員教授も実行委員会の中心メンバーとして活動している。同実行委員会の主催で2019年6月16日に開催された「ながさき平和大集会」にはナガサキ・ユース代表団のメンバーが登壇して活動発表を行った。2020年2月23日のシンポジウム「核軍縮の逆行をいかに克服するか」には朝長客員教授に加えて、吉田センター長、鈴木副センター長も登壇した。
- ●RECNA ラウンドテーブル・研究会等: 今年度は、RECNA ラウンドテーブルを1回、RENCA 研究会を1回、そして「長崎被爆・戦後史研究会」については研究会を1回、3年間の活動を総括した公開シンポジウムを開催した。

「RECNA ラウンドテーブル」では 2020 年 1 月 10 日、外国人客員研究員であるグレゴリー・カラーキー博士を招き、博士の日本における研究テーマ「日米同盟と核抑止政策」について、RECNA スタッフと意見交換を行った。引き続き学生との懇談会も行った。RECNA 研究会は、2020 年 1 月 23 日に朝長客員教授を講師に招いた。朝長教授もメンバーであった「核軍縮の実質的な進展のための賢人会議」の議長レポートについての解説のあと、意見交換した。

2017 年度に設置した「長崎被爆・戦後史研究会」は、桐谷多恵子 RECNA 客員研究員が企画・運営を担当し、年 2 回程度の研究会を開催してきた。2019 年度は、11 月 11 日に東京大学文学部西村明准教授を講師に招いて「医科大的慰霊再考-生命倫理の議論を踏まえて」をテーマに第 5 回研究会を開催した。2020 年 2 月 15 日には 3 年間の研究を総括する公開シンポジウム「私たちは何を継承すべきか―長崎の被爆・戦後史研究から見えてくるもの」を開催した。

#### (3)資料収集・保存

●核兵器廃絶に関係する基礎情報を市民データベースとして整備し、ウェブ上で公開することは RECNA の重要な活動の一つである。2019 年版の核弾頭データは例年同様、6 月

1日付で最新のデータに更新した<sup>12</sup>。英語版ページの更新も行い、2020年3月にウェブ上で公開した。核物質データについては、各国の最新データが揃わなかったため、公表が12月になった<sup>13</sup>。核兵器廃絶長崎連絡協議会が発行する核弾頭・核物質データのポスターと解説しおりの作成も継続している。ポスターは日英韓の3カ国語で、しおりは日英の2カ国語で作成している。

●一般市民を対象に重要な一次資料を日英両語で分かりやすく紹介する「市民データベース」のサイトの改革を行った。解説部分を拡充するとともに重要資料へのアクセスが容易になるよう構成面や内容面で大幅な修正を行い、「核不拡散条約」「核兵器禁止条約」等の重要項目の更新を行った<sup>14</sup>。

#### (4) 啓発・教育

- ●2019 年度においては、多文化社会学研究科博士前期(修士)課程の核軍縮・不拡散科目群に1名の大学院生が入学し、また2020年3月には1期生となる2名が学位を取得して修了見込みである。来年度から開講の同研究科博士後期課程の「核廃絶・平和系」を主にRECNAが担当する。同系に2名が入学予定で、指導教官は共にRECNA教員である。同研究科博士前期課程にも1名入学予定となった(付記:以上の3名は予定通りに多文化社会学研究科に入学した)。
- ●本年度は、「軍縮・不拡散教育研究会」と明確に銘打った活動は行わなかったが、その趣旨を念頭においた国際交流、軍縮・不拡散への若い世代への問題意識の向上に関わるさまざまな活動を行った。とりわけ、RECNAを訪問する国内外の専門家・実務者、また各国から長崎を訪問する若者らとの意見交換の場は、ナガサキ・ユース代表団のメンバーを中心とする学生たちへの意識啓発において貴重な機会となっている。
- ●全学モジュール「核兵器のない世界を目指して」では、モジュールⅡ (2 年次生対象)として「核兵器廃絶へのアプローチ」(必修 3 科目)、「私たちと核兵器廃絶」(必修 3 科目)の 2 つの科目群を継続。モジュール I (1 年次生対象)でも昨年度同様に後期に必修 3 科目が開講され、受講生は約 70 名であった。今年度も履修希望者が履修可能な上限を超えており、抽選により受講学生の絞り込みが実施された。モジュールⅡ については、前述した 2 つの科目群をあわせて前期 3 科目、後期 3 科目開講された。受講生はそれぞれ約 40 名であった。
- ●PCU 協議会が主催する「ナガサキ・ユース代表団」プロジェクトに、RECNA は今年も全面的に協力した。第7期生として、書類審査と英語面接を経て9名の若者が選考された(長崎大学生・院生9)。メンバーは、準備期間を経て、4月29日~5月10日にニューヨークで開かれた2020年NPT再検討会議第3回準備委員会に参加し自主ワークショップ

<sup>12</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/nuclear1

<sup>13</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/fms

<sup>14</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.ip/recna/database

や各国政府代表、国際機関・NGOの関係者、世界各地から参加する若者との交流を行うなど多彩な活動を展開した。帰国後は、活動報告会や活動レポートを発行した。また、小中高などでの出前講座の実施も、「日本非核宣言自治体協議会」(会長:長崎市長)などの協力を得て、今年も日本各地で行われた。ユース代表団の活動記録を別紙にまとめた。11 月には、第8期生の一次審査及び二次審査が行われ、OBOG枠の1名を含む8名(長崎大学生・院生7名、長崎県立大生1名、のちに長崎大生1名は要件不備により取り消し)が選考された15。

例年通り、RECNA 教員による小中高校等への出張講義は継続して実施され、長崎市内外での若い世代への継承にも貢献していると考えている。

#### (5) 発信・出版

●RECNA が編集を担当する長崎大学の刊行物、J-PAND (Journal for Peace and Nuclear Disarmament、2017 年 12 月発刊) は、1 年に 1 巻(各巻に 2 号)のペースの刊行計画で進めてきた。2019 年度もこのペースを維持し、第 2 巻第 1、2 号を発刊(それぞれ 2019 年 7 月、12 月)した。2019 年度の主な実績は以下の通りである。

#### (1) 閲覧数

- ・2019年の閲覧数 (論文ダウンロード数) は 7 万件近くあり、2018年の約 2.6 倍にまで伸びた。2019年の四半期ごとの閲覧数は右肩上がりが継続している。2019年第 4 四半期は、前年同期比で約 2.5 倍の伸びとなった。
- ・掲載論文の中には、閲覧数が9000以上のものが複数出てきている。
- (2) 論文の引用

引用された実績のある論文は 10 本を超え、J-PAND 以外の学術誌からの引用も付き始めている。

(3) 論文インデックス

各種の論文データベース (Emerging Sources Citation Index: ESCI など) への収載に向け、 手続きを進行させている。

- (4) 特別伝記インタビュー「市民科学者 フランク・フォンヒッペル: 核軍縮に挑み続けた 半世紀」の掲載を開始した。
- ●RECNA 叢書 5 として、「核兵器のある世界とこれからを考えるガイドブック」(中村桂子著、法律文化社、174 頁)の出版契約を 3 月に完了した(発行日は 4 月)。初版発行部数は 2,500 部、価格は 1,500 円(税別)である。高校生や大学学部生を対象とし、わかりやすい Q&A 方式でまとめた核問題の入門書である。2013 年から続いてきた全学モジュール「核兵器のない世界を目指して」の講義内容が基になっている。
- ●重要課題について、タイムリーに情報を発信するため、2019 年度も「レクナ・ポリシーペーパー」「レクナの目」を発表した。2020 年 2 月刊行の「レクナ・ポリシーペーパーNo.

<sup>15</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/8th members j.pdf

- 9 教皇フランシスコ:被爆地からの発信」では、教皇の被爆地訪問、各地での演説意義に 焦点をあてた<sup>16</sup>。四條長崎大学多文化社会学部客員研究員、広瀬副センター長、山口客員研 究員が分析し、記者会見も行った。2019年6月30日に行われた第3回米朝首脳会談につ いては、同7月1日に見解文を「レクナの目」として発表した<sup>17</sup>。
- ●定期刊行物である RECNA ニューズレター (和文・英文) は Vol.7 より、年 2 回 (9 月、3 月)、デジタル版のみでの刊行に移行した。2019 年度の第 1 号は 9 月に刊行し<sup>18</sup>、2020 年 3 月に第 2 号を刊行した<sup>19</sup>。刊行回数を減らしたことにより、各号あたりの紙面と掲載記事は増やすこととなった。「核兵器廃絶研究センター年報 2018」も活動記録の集大成という位置付けで前年度と同様に発行した<sup>20</sup>。

<sup>16</sup> http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/39653/1/REC-PP-09.pdf

<sup>17</sup> https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/eyes/no17

<sup>18</sup> http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/39461/1/RECNA 8 1.pdf

<sup>19</sup> http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/39762/1/RECNA 8 2.pdf

<sup>20</sup> http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/handle/10069/39329

#### <教員活動報告>

## 2019 年度教員活動報告

#### 吉田 文彦 センター長・教授 1

#### I. 教育

(1) 担当科目

多文化社会学研究科(修士課程)「核軍縮と国際政治特講」 「核軍縮と国際政治特定演習」 論文指導

#### Ⅱ. 研究

- (1) 主要研究テーマ
- 核軍縮政策
- 核不拡散政策
- 核戦略と安全保障

#### (2) 著書・論文

● RECNA 編集、Taylor & Francis 社出版の英文の国際学術誌J-PAND (Journal for Peace and Nuclear Disarmament)の編集長。Volume 2のIssue 1 (2019年 5月) &2 (2019年 12 月)を出版。Volume 2のIssue 1&2の内容は以下のURLで閲覧可能。
https://www.tandfonline.com/toc/rpnd20/2/1?nav=tocList
https://www.tandfonline.com/toc/rpnd20/current?nav=tocList

- (3) 学会誌寄稿、報告書、雑誌・新聞寄稿等
- Hibiki Yamaguchi, Fumihiko Yoshida, Radomir Compel, "Can the Atomic Bombings on Japan Be Justified? A Conversation with Dr. Tsuyoshi Hasegawa", Journal for Peace and Nuclear Disarmament, Volume2, Issue 1.

https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/25751654.2019.1625112

 Fumihiko Yoshida, Haksoon Paik, Michael Hamel-Green, Peter Hayes "Policy Proposal: From Peace on the Korean Peninsula to a Northeast Asia Nuclear Weapon Free Zone", RECNA, December 2019.

http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/39592/1/RECNA-

#### PProp-2019-E.pdf

- 吉田文彦、「はじめに」、『迷路に入った核軍縮:リスク削減に向けて』、RECNA POLICY PAPER、2019年 7月
- 吉田文彦、「はじめに」、『教皇フランシスコ:被爆地からの発信』、RECNA POLICY PAPER、2020年 2月
- 朝日新聞のウエブコラム「吉田文彦の地球360 度」に「核先制不使用宣言のすすめ INF全廃条約失った今こそ」を掲載。2019年 8月

#### (4) その他(学会発表、国際会議発表等)

- 報告「プラハ演説から10年:米ロ核軍縮の行方」、「部会:軍縮がもたらした世界:軍 縮学会の10年」、日本軍縮学会、2019年 4月。場所は東京。
- RECNAと世宗研究所共催の日韓共同ワークショップ「朝鮮半島の平和から北東アジア非核化へ」の総括セッション「関係各国への政策提言」で議長。場所は韓国(ソンナム)、2019年 6月
- 特別講義「朝鮮半島の非核化から北東アジア非核兵器地帯へ」、韓国・国民大学、 2019年 11月。場所はソウル。

#### III. 社会貢献

#### (1) 一般向け講演、公開講座

- 核兵器廃絶市民講座 第2回「米国の核使用は日本を守るか」の講師。核兵器廃絶長崎 連絡協議会主催。会場はアルカスSASEBO(佐世保市)。2019 年 6月
- 国際平和シンポジウム2019「核兵器廃絶への道」 にてコーディネーター。広島市、朝 日新聞社など主催。会場は広島国際会議場。2019年7月。
- 「U-40 世代の交流によるネットワーク拡大事業」で講演。日本非核宣言自治体協議会主催。会場は国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館。2019 年 10 月。
- 特別市民セミナー「歴史と向き合う 被爆地から学んだこと」で、スーザン・サザード 氏、青来客員教授、アーサー・ビナード氏のトークセッションの司会。核兵器廃絶長崎 連絡協議会主催。会場は長崎原爆資料館ホール。2019 年 11 月。
- 国際シンポジウム「核兵器と反人道罪のない世界へ」にて討論者。広島平和研究所、中 国新聞など主催。会場は広島国際会議場。2019 年 12 月。

#### (2) メディア対応

- 「核兵器廃絶目指し 29 日、アルカス SASEBO レクナセンター長が講演」 西日本 新聞 2019 年 6 月 20 日
- 「限定核使用 米軍が新指針」 長崎新聞 2019年7月29日

- 「核禁条約批准へ世論促そう」 長崎新聞 2019年8月5日
- 「核兵器情勢・禁止条約展望語る 「核の傘」再考するとき」 赤旗 2019 年 8 月 20 日
- 「教皇来崎 その意義 爆心地から世界へ直言」 長崎新聞 2019 年 11 月 29 日

#### (3) 地域活動

- 長崎市原爆資料館運営委員会委員
- 長崎市被爆75周年記念事業選定審査会審査委員
- 長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会委員。

#### (4) 連携事業

● 長崎大学とICU の包括連携協定に基づく「軍縮教育」に関する共同研究において、長崎大学側の代表。RECNAとICUが中心となって申請した科研費・基盤研究(B)「日韓共同による軍縮・平和教育プログラムの作成・実践・評価:教育学的アプローチ」(2020-2022年度)への交付が決定。

#### (5) 外部委員

米国ワシントンDC のカーネギー国際平和財団在外研究員(非常勤)

#### IV. 校務分掌

- 教育研究評議会委員
- 研究連絡調整会議委員
- 教務委員会委員
- 財務委員会委員

#### < 教員活動報告>

## 2019 年度教員活動報告

#### 鈴木 達治郎 副センター長・教授 ↑

#### I. 教育

(1) 担当科目

全学モジュール「核と科学を平和する」(冨塚明准教授と共同) 「被ばくと社会」

多文化社会研究科(修士課程)「原子力平和利用と核不拡散特講」

「原子力平和利用と不拡散特定演習」 「核物質管理と核セキュリティ特講」 「核物質管理と核セキュリティ特定演習」

#### II. 研究

- (1) 主要研究テーマ
- 北東アジアの非核化と安全保障
- 核物質管理と処分
- 先端技術と核リスク
- (2) 著書・論文

(著書)

● 鈴木達治郎、「東北アジア非核兵器地帯に向けて―この機会を逃すな」、原水爆禁止 2019 年世界大会・科学者集会実行委員会編、「九州・沖縄から東アジアの平和を:原水爆禁止世界大会 2019 年、世界大会・科学者集会 in 福岡―市民運動の役割と科学者の責任」、2019 年 11 月。花書院。pp. 20-38.

(査読付き論文)

- 今年度はなし。
- (3) 学会誌寄稿、報告書、雑誌・新聞寄稿等 鈴木達治郎、「原子力政策の展望―『負の遺産』清算を柱に」、世界、2019 年 7 月 号、岩波書店、pp.160-167.
- Tatsujiro Suzuki, "An update from Fukushima, and the Challenges that remain

- there", Bulletin of the Atomic Scientists, November 11, 2019. <a href="https://thebulletin.org/2019/11/an-update-from-fukushima-and-the-challenges-that-remain-there/">https://thebulletin.org/2019/11/an-update-from-fukushima-and-the-challenges-that-remain-there/</a>
- 鈴木達治郎、「イラン核合意の行方:最悪シナリオは防げるか」、ウェブ論座、2019年 5月17日。
- 鈴木達治郎、「プルトニウム管理の国際規範作り、日本が主導を」、ウェブ論座、2019 年6月6日。
- 鈴木達治郎、「参院選が放棄した『憲法改正と安全保障』の議論」、ウェブ論座、2019 年 7月30日。
- 鈴木達治郎、「被爆74年、広島・長崎の『平和宣言』を読む」、ウェブ論座、2019年 8月18日。
- 鈴木達治郎、「迷路に入った核軍縮と 2020 年の日本の行方」、ウェブ論座、2020 年 1 月 7 日。
- 鈴木達治郎、「信頼回復に全力で取り組め:福島第一原発の廃炉、再検討が不可欠」、日本経済研究センター、2020年2月14日。
- 鈴木達治郎、「NPT 発効から 50 年」、毎日新聞「論点」、2020 年 3 月 18 日。

#### (4) その他 (学会発表、国際会議発表等)

- Tatsujiro Suzuki, "Plutonium Programs in Japan and Recommendations made by Sasakawa Group", Workshop on Practical Measures to Reduce Nuclear Risks from Fissile Material", Vienna Center for Disarmament and Non-proliferation, Vienna, June 18, 2019.
- Tatsujiro Suzuki, "Youth as Agents of Change", CTBTO Science and Technology Conference, Vienna, June 24-28, 2019.
- Tatsujiro Suzuki, "Facing New Tri-Polar Threats: Nuclear, Climate and Emerging Technology Risks", International Conference on Global Risk, Security, and Ethnity, Nagasaki, August 11, 2019.
- Tatsujiro Suzuki, "A proposal from Sasakawa Peace Foundation on International Management of Plutonium -Meeting Nuclear Security and Non-proliferation Challenges", Multilateral Nuclear Energy Dialogue: Forming a Coalition of the Willing, Developing an Institutional Framework for Expanded Global SMR and Advanced Reactor Developments, Nevada, US, August 26-29, 2019.
- Tatsujiro Suzuki, "From Peace on the Korean Peninsula to a Northeast Asia Nuclear Free Zone (NEA-NWFZ): Don't Miss This Opportunity", The 5<sup>th</sup> Pan-Yellow Sea Forum, Buyeo, ROK, October 31-November 1, 2019.

#### III. 社会貢献

#### (1) 一般向け講演、公開講座

- 鈴木達治郎、「増大する核の脅威:核の傘は万全か」、「ヒバクシャ国際署名」3周年のつ どい、「ヒバクシャ国際署名」を進める長崎県民の会、長崎、2019年5月26日。
- 鈴木達治郎、「NPT 再検討会議第3回準備委員会に出席して」、第31回ながさき市民平和大集会、核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会、長崎、2019年6月16日。
- 鈴木達治郎、「北東アジア非核兵器地帯に向けて: この機会を逃すな」、原水爆禁止 2019 年世界大会・科学者集会 in 福岡、福岡、2019 年 7 月 28 日。
- Tatsujiro Suzuki, "Era of New Nuclear Threats: Two Minutes to Midnight", Hiroshima-ICAN Academy, August 3, 2019.
- 鈴木達治郎、「核のない未来は可能か」、かわさき市民アカデミー特別講座「原爆 過去・ 現在・未来を考える」、川崎、2019年9月19日。
- 鈴木達治郎、「3.11 原発後の原子力政策の在り方~二極対立を超えて」、完成学院大学 特別演習「福島から原発を考える」、神戸、2019 年 9 月 28 日。
- 鈴木達治郎、「3.11 後の原子力政策~原子力は生き残れるか」、千葉工業大学 REIWA 情勢調査研究会、東京、2020 年 1 月 29 日。
- 鈴木達治郎、「原子力・エネルギー政策の改革:福島原発事故の教訓を踏まえ、二極対立を超えよ」、2019 年度次世代エネルギーワークショップ~30 年後のエネルギー選択を考える、東京、2020 年 1 月 31 日~2 月 1 日。
- 鈴木達治郎、「サイバー・宇宙等新技術と核リスク:新たな脅威にどう対処すべきか」、 核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ「核軍縮の逆行にいかに克服するか」、長崎、2020年 2月24日。
- 鈴木達治郎、「核のゴミ問題を考える:信頼確保目指し根本的見直しを」、愛知県弁護士会、公害対策・環境保全委員会学習会、名古屋、2020年2月20日。

#### (2) メディア対応

- 「福島原発廃炉、活かされない教訓と反省」、ラジオ日経「町田徹の経済レポートふか ぼり」、2020年2月28日。
- 「原発再稼働問題:地元との実効ある対話と核のゴミと核燃料サイクルの見直しが大前提」、ラジオ日経「町田徹の経済レポートふかぼり」、2020 年 3 月 6 日。
- 「福島原発特集、震災から 9 年」、TBS サンデーモーニング、2020 年 3 月 8 日。
- 「川内原発とテロ対策」、MBC ニュースナオ、南日本放送、2020 年 3 月 13 日。

#### (3) 地域活動

● 鈴木達治郎、「トランプ・米ロ・北朝鮮・NPT: 2019 年最新核情勢」、「伝えんば」第34

回勉強会、長崎、2019年6月10日。

- 鈴木達治郎、「映画に見る『核兵器』: 私が選んだベスト 10」、2019 年度核兵器廃絶市 民講座第 5 回、核兵器廃絶長崎連絡協議会、長崎、2019 年 12 月 14 日。
- 長崎市「平和の誓い」代表選定委員会委員。
- 長崎市「平和宣言」起草委員会委員。
- 核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会副委員長。

#### (4) 連携事業

特になし

#### (5) 外部委員

- 軍縮学会会長
- 衆議院原子力問題調査特別委員会アドバイザリーボード メンバー。
- 科学技術振興機構社会技術研究センター (RISTEX) 運営評価委員会座長。
- 原子力市民委員会アドバイザー。

#### IV. 校務分掌

特になし

#### < 教員活動報告>

## 2019 年度教員活動報告

#### 広瀬 訓 副センター長・教授 ↑

#### I. 教育

(1) 担当科目

全学モジュール 「文学・芸術と核兵器」

「核軍縮の法と政治」

「国際社会と平和」

多文化社会学部 「国際機構論」

「軍縮論」

「基礎演習 I · Ⅱ」

「専門演習 I · Ⅱ」

「卒業研究」

多文化社会研究科 (修士課程) 「核軍縮交渉の法と政治特講」

「核軍縮交渉の法と政治特定演習」

医学部 「医学史・原爆医学と長崎」(オムニバス)

#### Ⅱ. 研究

#### (1) 主要研究テーマ

- 包括的核実験禁止条約(CTBT)の意義と特徴
- 国際人道法上の核兵器の位置づけ
- 軍縮・平和教育における各種メディアの有効活用

#### (2) 著書・論文

- Satoshi Hirose 'Japan and Nuclear Weapons' Suzannah Linton, Tim McCormack and Sandesh Sivakumaran ed. Asia-Pacific Perspectives on International Humanitarian Law, Cambridge Univ. Press, 2019 p,440-p.455
- (3) 学会誌寄稿、報告書、雑誌・新聞寄稿等
- 広瀬 訓 「NPT 再検討会議準備委員会の評価と再検討会議への展望」 RECNA ポリシーペーパー No.7 『迷路に入った核軍縮:リスク削減に向けて』 2019年7月

p.13-p.20

- 広瀬 訓 「核兵器廃絶をめぐる情勢と課題」『月刊連合 2019 年 8・9 合併号』 2019 年 8 月 p.10-p.11
- 広瀬 訓 「ローマ教皇フランシスコの被爆地訪問と核軍縮」 RECNA ポリシーペーパー No.8 『教皇フランシスコ:被爆地からの発信』 2020 年 2 月 p.1-p.7
- 広瀬 訓 「書評 瀬川高央著 『核軍縮の現代史』」 図書新聞 3440 号 2020 年 3月21日

#### (4) その他 (学会発表、国際会議発表等)

Satoshi Hirose, Denuclearization of the Korean Peninsula and Nuclear Weapon Free
 Zone in Northeast Asia

Harnessing the Winds of Change in a Shifting Nuclear World Hosted by The Faculty of Law at the University of Manitoba, together with the Committee on Nuclear Weapons, Non-Proliferation and Contemporary International Law of the International Law Association (ILA) and ISLAND - the International Society of Law and Nuclear Disarmament September 29 - 30, 2019 Canadian Museum for Human Rights

Winnipeg, Manitoba, Canada

#### III. 社会貢献

#### (1) 一般向け講演、公開講座

- 広瀬 訓 「核兵器をめぐる最近の流れ」 長崎市平和推進協会平和案内人全体会
- 講師 2019年4月6日
- 広瀬 訓 Mayors for Peace Youth Forum Coordinator, 国連本部、ニューヨーク 2019 年 5 月 2 日
- 広瀬 訓 「「核軍縮の最前線から~NPT 準備委員会からか今見えるもの~」2019 年 度第一回核兵器廃絶市民講座 講師 原爆死没者追悼平和館 2019 年 5 月 25 日
- 広瀬 訓 「なぜ核兵器はなくならないのか~核兵器禁止条約と『核の傘』~」 パルシステム千葉学習会 講師 2019 年 6 月 8 日
- Satoshi Hirose Toward a World without Nuclear Weapons: Challenge of Nagasaki University UNDP Syria Capacity Building Project, Lecture, 10 June 2019
- Satoshi Hirose Some Untold Experiences of Nagasaki UNDP Syria Capacity Building Project, Lecture, 11 June 2019
- 広瀬 訓 「「原爆・平和」ー長崎からの発信―」 ユネスコ・アフリカ能力開発国際 研究所「教師教育を通じたサヘル地域の過激化抑制及び平和構築支援事業」 講師

#### 2019年7月31日

- 広瀬 訓 「なぜ核兵器はなくならないのか~核兵器禁止条約と『核の傘』~」 UA ゼンセン東京都支部平和学習 講師 2019 年 8 月 4 日
- 広瀬 訓 「子どもたちに平和な未来を手渡すために」 親子読書地域文庫全国連絡会 50 周年記念 第 22 回全国交流集会 平和分科会 講師 2019 年 10 月 6 日
- 広瀬 訓 「「映画に見る『核兵器』~私が選んだベスト10」 2019 年度第一回核兵 器廃絶市民講座 対談 原爆死没者追悼平和館 2019 年 12 月 14 日
- 広瀬 訓 「現代の核問題」 第7期平和案内人講座 講師 2020年1月21日
- 広瀬 訓 「Toward a World without Nuclear Weapons: Challenge of Nagasaki University」 ユース・カンファレンス・イン・ナガサキ 講師 2020年2月11.日

#### (2) メディア対応

- 「長崎の若者参加に意義」 長崎新聞 2019 年 4 月 3 日
- 「ナガサキ・ユース 7 期生 存在意義を多くの人に」 朝日新聞 2019 年 4 月 5 日
- 「大学生9人 長崎の思い伝えたい」 毎日新聞 2019年4月13日
- 「米の姿勢が焦点 広瀬訓氏が展望語る」 長崎新聞 2019 年 4 月 28 日
- 「すべての人が「ヒバクシャ」 ナガサキ・ユース代表団が発表」 長崎新聞 2019年5月3日
- 「世界の若者 核廃絶へ道探る」 朝日新聞 2019年5月4日
- 「核廃絶へ若者が思い共有」 長崎新聞 2019年5月4日
- 「核問題 より身近に」 朝日新聞 2019年5月13日
- 「NPT は地盤沈下」 長崎新聞 2019 年 5 月 26 日
- 「核保有国間にも亀裂」 西日本新聞 2019 年 5 月 26 日
- 「核軍縮の行方 霧の中」 朝日新聞 2019年5月30日
- 「核廃絶の輪 広がり期待」 長崎新聞 2019 年 6 月 7 日
- 「ユース代表団活動成果報告」 読売新聞 2019 年 6 月 13 日
- 「ナガサキ・ユース帰国報告会 核軍縮の厳しさ実感」 毎日新聞 2019 年 6 月 13 日
- 「「核なき世界」決意新た」 西日本新聞 2019年6月20日
- 「日本は具体的過程提案を」 西日本新聞 2019年6月27日
- 「米国の自信・威圧感を実感」 朝日新聞 2019年7月5日
- 「核禁条約参加の議論を」 長崎新聞 2019年8月1日
- 「「核ある世界に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本」 朝日新聞 2019 年 10 月 24 日
- 「核兵器」の意味映画通じ考える」 朝日新聞 2019 年 12 月 24 日
- 「核兵器使用の敷居高くした」 朝日新聞 2020年2月5日
- 「核使用の敷居高く」 長崎新聞 2020 年 2 月 5 日

## (3) 地域活動 特になし

#### (4) 連携事業

- 広瀬 訓 姫路市立置塩中学校平和講座 講師 2019年4月22日
- 広瀬 訓 長崎県立鶴南特別支援学校 サイエンスカーラボ 2019 年 7 月 19 日
- 広瀬 訓 「もう一度「原爆」を考える」 長崎県立長崎南高校クラスラボ 講師 2019年9月10日
- 広瀬 訓 「核はなぜなくならないのか」 東京都立町田高校平和学習 講師 2019年 11 月 4 日

#### (5) 外部委員

- 日本国際連合学会理事
- 学校法人活水学院理事

#### IV. 校務分掌

● 全学モジュール小委員会委員・ワーキンググループ委員

#### < 教員活動報告>

## 2019 年度教員活動報告

#### 中村 桂子 准教授 ↑

#### I. 教育

(1) 担当科目:全学モジュール「核兵器とは何か」(責任者) 全学モジュール「市民運動・NGOと核兵器廃絶」(責任者) グローバル・モジュール「Toward a Nuclear Weapon-Free World」(責 任者) 多文化社会学部「軍縮と平和」 医学部「医学史・原爆医学と長崎」

#### II. 研究

#### (1) 主要研究テーマ

- 核軍縮・不拡散をめぐる多国間協議の動向
- 核兵器廃絶に向けた市民社会の取り組み
- 核軍縮・不拡散教育

#### (2) 著書・論文

- 中村桂子 『核のある世界とこれからを考えるガイドブック』RECNA 叢書 5、2020 年 3 月、法律文化社 ISBN978-4-589-04076-3
- 中村桂子「採択から2年:核兵器禁止条約(TPNW)の現在とこれから」 『RECNA ポリシーペーパー No.8 迷路に入った核軍縮:リスク削減に向けて』 2019 年 7 月pp. 21-25

#### (3) 学会誌寄稿、報告書、雑誌·新聞寄稿等

- 中村桂子「世界と暮らしをつなぐこと――核兵器廃絶に向けた地方自治体の可能性」 『世界』2020 年 1 月、岩波書店 pp. 148~153
- 中村桂子「遠くて近い核兵器廃絶への道」『まなぶ』2020 年 3 月、労働大学出版センター、pp. 21~23
- 中村桂子「2020 年 NPT 再検討会議に向けて~第3回準備委員会から見えた課題~」『長崎の証言 2019』、長崎の証言の会、pp. 241~246

#### (4) その他 (学会発表、国際会議発表等)

- Keiko Nakamura "Reinvigorating the Review Process," 18th Republic of Korea-United Nations Joint Conference on Disarmament and Non-proliferation Issues: Preparing for 2020 Nuclear Non-Proliferation Treaty Review Conference September, November 13 - 14, 2019, Seoul, ROK
- 中村桂子「北東アジア非核兵器地帯に向けて」、九州平和学会、2019 年 11 月 23-24 日、 長崎大学
- 中村桂子「軍縮教育の現状と課題に関する一考察:国際機関の取り組みを中心に」、国際基督教大学(ICU)・長崎大学共同研究シンポジウム、2019 年 12 月 7 日

#### III. 社会貢献

#### (1) 一般向け講演、公開講座

- 中村桂子「核兵器のない世界は実現できる?世界の現状と長崎の若者の取り組み」、外 海中学校平和学習での講義、2019 年 5 月 24 日
- 中村桂子「核軍縮の最前線から~NPT 準備委員会から垣間見えるもの~」、核兵器廃絶 市民講座 2019 年度第 1 回、2019 年 5 月 25 日
- 中村桂子「核兵器禁止条約の採択から2年~核なき世界は近づいている?」、反核医師の会学生部会フィールドワーク講演、2019年5月26日
- 中村桂子「長崎からグローバルな課題を発見する〜被爆地ナガサキからの発信」、長崎 東高校平和学習での講義、2019 年 6 月 20 日
- 中村桂子「核兵器をめぐる世界の動き」、東京大学付属高校講義、2019年6月27日
- 中村桂子「核兵器のない世界は実現できる?」、桜馬場中学校平和学習での講義、2019 年7月2日
- 中村桂子「核兵器をめぐる世界の動き」、ヒバクシャ国際署名をすすめる長崎県民の会 2 周年のつどい講演、2019 年 7 月 7 日
- 中村桂子「核兵器廃絶へ:世界の動きと日本の課題」、日本民医連被ばく問題交流集会 講演、2019 年 7 月 20 日
- 中村桂子「核兵器のない世界は実現できる?」、日本生協連虹のひろば講演、2019 年 8 月 8 日
- 中村桂子「核兵器をめぐる世界の動き」、諫早高校平和学習、2019年8月9日
- 中村桂子「北東アジア非核化のための私たちにできること」、反核医師の会総会記念講演、2019 年 9 月 15 日
- 中村桂子「若者の現状から見る核兵器廃絶運動の課題と可能性」、SGI シンポジウム、 2019 年 9 月 16 日

- Keiko Nakamura "Toward a World Free From Nuclear Weapons Challenge of RECNA-"、国連フェローシップ講義、2019 年 9 月 30 日
- Keiko Nakamura "Toward a World Free From Nuclear Weapons Challenge of RECNA-"、さくらサイエンス事業によるタイ大学生への講義、2020 年 1 月 14 日
- Keiko Nakamura "Current Nuclear Issues," Youth Conference in Nagasaki 講義、 2020 年 2 月 11 日

#### (2) 地域活動

- 核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC) 委員
- 核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会委員
- (3) 連携事業 特になし

#### (4) 外部委員

● 日本軍縮学会理事・編集委員

<リンク集>

## 出版物 ↑

J-PAND

http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/j-pand/

● RECNA ニューズレター

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/publication/newsletter\_jp

RECNA News Letter

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/en-publication/newsletter\_en

● RECNA ポリシーペーパー

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/publication/rec-pp-j

● 政策提言書

(日本語版) <a href="http://naosite.lb.nagasaki-">http://naosite.lb.nagasaki-</a>

u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/39591/1/RECNA-PProp-2019J.pdf

(英語版) <a href="http://naosite.lb.nagasaki-">http://naosite.lb.nagasaki-</a>

u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/39592/1/RECNA-PProp-2019-E.pdf

● RECNA 叢書 <a href="https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/publication/recnaseries">https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/publication/recnaseries</a>

## 活動報告 👤

● 2019 年度核兵器廃絶市民講座「核兵器のない世界を目指して」(全 6 回) https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu/lecture31

- 日韓共同ワークショップ「朝鮮半島の平和から北東アジア非核化へ」 https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/asia/jrj-workshop-20190522
- 特別市民セミナー https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu/2019-2
- RECNA 長崎被爆・戦後史研究会

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/23946

● 運営委員会次第

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/11th Committee.pdf

## 教育 1

★学院核軍縮・不拡散科目群

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/GraduateSubjects 2019.pdf

● 全学モジュール「核兵器のない世界を目指して」

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/Module 2019.pdf

## ウェブサイト ↑

- 市民データベース
- 世界の核弾頭データ
- 世界の核物質データ
- レクナの目

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/database
https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/nuclear1
https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/fms
https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/eyes

## ナガサキ・ユース代表団(第7期生) 1

● 募集概要

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/nagasaki-youth/nagasaki-youth2018\_7bogaiyo

● メンバー紹介

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/8th\_members\_j.pdf

● 厳選ブログ集

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/Youth7blogs.pdf

● 活動報告

https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/nagasaki-youth/7th activities

- 活動紹介レポート
  - (前半) <a href="https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/youth2019">https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/youth2019</a> vol.7 1.pdf
    (後半) <a href="https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/youth2019">https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/youth2019</a> vol.7 2.pdf

201946	~ IKZ-10-7	<del>_</del>	
番号	日付	新聞	見出し
1	4月1日	読売	研究や人材育成 ICUと連携へ 長崎大、単位互換も
2	4月3日	長崎	NPT準備委傍聴 ユース代表団 長崎市役所訪れ抱負 「長崎の若者参加」に意義
3	4月4日	西日本	核廃絶市民講座来月25日に開講
4	4月5日	朝日	ナガサキ・ユース7期生 「存在意義を多くの人に」 NPT準備委今月末から参加
5	4月13日	毎日	ユース代表団が長崎市役所訪問 大学生9人「長崎の思い伝えたい」
6	4月13日	長崎	子どもの未来を考える
7	4月14日	長崎	日韓クルーズ客戦争の歴史学ぶ
8	4月17日	長崎	「核軍縮へ義務履行を」賢人会議、国際社会に提言
9	4月19日	朝日	紛争で傷ついた子どもたち保護 独国際平和村代表が来日 あす長崎で講演
10	4月22日	長崎	未来のいのち「国際サミット2019」in長崎「ドイツ国際平和村」代表講演「若者の核廃絶運動に感動」
11	4月25日	西日本	NY派遣のナガサキ・ユース代表団 核廃絶へ思い語る
12	4月28日	長崎	あすからNPT準備委 米の姿勢が焦点
13	5月2日	長崎	長大レクナNPT 第3回準備委報告①
14	5月3日	長崎	ナガサキ・ユース代表団が発表
15	5月4日	朝日	世界の若者 核廃絶へ道探る 国連本部でフォーラム
16	5月4日	長崎	長大レクナNPT 第3回準備委報告②
17	5月4日	長崎	核廃絶へ若者が思い共有 国連本部でユースフォーラム
18	5月8日	長崎	長大レクナNPT 第3回準備委報告③
19	5月9日	長崎	「核なき世界遠のく」核合意一部停止 長崎の被爆者懸念
20	5月9日	西日本	共同通信・太田編集委員 NPTテーマに講演
21	5月10日	長崎	長大レクナNPT 第3回準備委報告④
22	5月11日	長崎	長大レクナNPT 第3回準備委報告⑤
23	5月12日	長崎	核廃絶機運 市民からも 長崎平和宣言 起草委が初会合
24	5月12日	長崎	NPT準備委閉幕 亀裂深刻 揺らぐ信頼
25	5月12日	西日本	「核軍縮 危機感共有を」 長崎平和宣言起草委が初会合
26	5月12日	毎日	「踏み込んだメッセージを」 平和宣言起草委 初会合で意見相次ぐ
27	5月13日	朝日	核問題 より身近に ナガサキ・ユース米で活動
28	5月13日	長崎	ながさき時評 朝鮮人徴用工「終わった話」ではない
29	5月13日	長崎	長大レクナNPT 第3回準備委報告⑥
30	5月20日	読売	この人に聞く:核廃絶 長崎で専門家育成 RECNAセンター長
31	5月21日	長崎	混迷NPT準備委リポート(下)
32	5月22日	長崎	レクナ教授や共同通信編集委員 25、30日 長崎で講演会
33	5月26日	長崎	「NPTは地盤沈下」 長大レクナ副センター長 準備委を振り返り懸念
34	5月26日	西日本	「核保有国間にも亀裂」 NPT準備委傍聴 講座で2氏報告
35	5月27日	朝日	「核の脅威増大」指摘 ヒバクシャ国際署名3周年講演
36	5月27日	長崎	ヒバクシャ国際署名3年の集い 50万人達成へ活動推進
37	5月27日	毎日	米臨界前核実験を非難 ヒバクシャ国際署名 3年記念集会
38	5月28日	長崎	ハワイと長崎 平和教育で連携 きょう長崎大でシンポ
39	5月29日	西日本	ヒバクシャ国際署名 活動3周年 長崎で集い
40	5月30日	長崎	平和教育の在り方探る 長崎大でシンポジウム
41	5月30日	朝日	核軍縮の行方 霧の中 長崎でNPT準備委振り返る講座
42	5月30日	西日本	平和の大切さどう共有 ハワイと長崎 事例発表

201946	- IX-210-F		
番号	日付	新聞	見出し
43	5月31日	朝日	「被爆証言」伝え続けた50年 「長崎証言の会」記念誌企画 寄附募る
44	6月1日	長崎	窓を開いて 核兵器廃絶を遠ざけるか
45	6月7日	長崎	核廃絶の輪 広がり期待 ナガサキ・ユース代表団 NPT準備委、活動報告
46	6月9日	毎日	平和宣言に被爆者の詩
47	6月11日	長崎	「証言の会」に秋月平和賞 半世紀で2000人分、75冊発行
48	6月12日	長崎	今日の紙面 核弾頭は1万3880発
49	6月12日	長崎	長大レクナ推計 世界の核弾頭1万3880発
50	6月12日	朝日	長崎大レクナ ポスター完成 核弾頭なお世界に1万3880発
51	6月12日	西日本	核弾頭 推計1万3880発
52	6月12日	毎日	核弾頭 世界で1万3880発
53	6月12日	読売	世界の核弾頭1万3880発
54	6月13日	長崎	先入観持たずに平和発信 長崎大院1年光岡さん深堀中で講話 被爆の実相 渡米し伝えた経験紹介
55	6月13日	毎日	ナガサキ・ユース帰国報告会 核軍縮の厳しさ実感 米NYで開催 NPT準備委参加
56	6月13日	読売	ユース代表団活動成果報告 NPT準備委派遣
57	6月15日	静岡	視標 核合意堅持に知恵絞れ
58	6月15日	福井	識者評論 安倍首相のイラン訪問 核合意堅持に知恵絞れ
59	6月15日	毎日	「対話重ね相互理解」 原爆 米国での意識ギャップに葛藤 平和発信テーマに講話
60	6月15日	神戸	識者評論 緊迫イラン情勢 核合意堅持 日本は知恵絞れ
61	6月16日	佐賀	視標 安倍首相のイラン訪問 核合意堅持に知恵絞れ
62	6月17日	朝日	ながさき平和大集会 秋月平和賞「長崎の証言の会」に授与
63	6月17日	長崎	ながさき平和大集会「証言の会」に秋月平和賞授与
64	6月18日	日本海	視標 安倍首相のイラン訪問 核合意堅持 知恵絞れ 危機回避へ外交継続を
65	6月19日	中国	識者評論 安倍首相のイラン訪問 核合意堅持へ知恵を絞れ
66	6月19日	高知	視標 安倍首相イラン訪問 核合意堅持へ知恵絞れ
67	6月20日	西日本	「核なき世界」決意新た NPT傍聴、各国と交流 ナガサキ・ユースが報告会
68	6月20日	西日本	核兵器廃絶目指し 29日、アルカスSASEBO レクナセンター長が講演
69	6月22日	長崎	安倍首相のイラン訪問 核合意堅持に知恵絞れ
70	6月23日	西日本	首相のイラン訪問 核合意堅持へ知恵絞れ
71	6月24日	長崎	ながさき時評 対イラン問題 自衛隊出動の事態回避を
72	6月24日	静岡	米 核弾頭数開示拒否
73	6月25日	愛媛	米 核弾頭数の開示拒否 前政権の方針を転換
74	6月27日	長崎	核禁条約採択2年で記念講演会 長崎で来月7日 バチカンの対応 解説も
75	6月27日	西日本	長崎大核兵器廃絶研究センター・広瀬副センター長に聞く 混迷のNPT、打開策見えず 『日本は具体的過程 提案を』
76	7月1日	朝日	米朝首脳会談 非核化・拉致 進展に期待 「首相も訪朝を」注文も
77	7月4日	西日本	核兵器廃絶訴え講演会 7日、長崎市の被災協―禁止条約採択2周年を記念
78	7月7日	長崎	平和宣言起草委 最終会合 「核禁」批准 政府へ要求
79	7月7日	毎日	参院選2019 核廃絶「国政で議論を」
80	7月8日	朝日	核禁条約「国内で深い議論必要」 採択2年 講演で長大・中村准教授
81	7月10日	長崎	あの人この人 長崎の平和運動を研究する中国人 何雲艶さん
82	7月11日	西日本	爆心地行ったり来たり 原爆資料館13年の日々 土山秀夫さん上 記憶力が衰えぬ「先生」
83	7月14日	新潟日報	廃炉ビジネス 光と影 岐路に立つ原発政策
84	7月18日	長崎	ICUの杉本さん、五井野さん 原爆 日本のこととして/核抑止力の考え方学ぶ

書号   日付   新聞   日日本   原心性行ったり来たり 原環境料館13年の日々 上山秀夫を心中 核液能 理性と感性で 「平和と核整線:無報等 法王の言動分析も   17月24日   長崎   法王の反核姿勢 紹介   長崎大学核長高速能研究センター   89   7月25日   日本本   原心性行ったり来たり 原環境料館13年の日々   上山秀夫を心下 危機を前に 真実信える   87   7月26日   日本本   原の性的方でとり来たり 原環機料館13年の日々   上山秀夫を心下 危機を前に 真実信える   87   7月26日   山杉   核兵器の存在 日本秀えよう 截工一中で講談金   17月27日   長崎   NEWS治島   別家インゲビュー 日本安保規管し発音   17月27日   長崎   原皮板房用 米京が動作計   29   7月27日   長崎   原皮板房用 米京が動作計   27   7月31日   引日   長崎   長崎大レフナー収集研究教育・「核禁条物参加の延済を1   17月31日   引日   長崎   長崎大レフナー収集研究教育・「核禁条物参加の延済を1   17月31日   日本   17月31日   17月33日   17月31日   17月31日	201946	K TKAE10 T		
86	番号	日付	新聞	見出し
87	85	7月18日	西日本	爆心地行ったり来たり 原爆資料館13年の日々 土山秀夫さん中 核廃絶 理性と感性で
88	86	7月23日	西日本	「平和と核軍縮」最新号 法王の言動分析も
7月26日 山影   核兵器の存在 自ら考えよう 孤王一中で譲渡会   7月27日   長崎   NEWS諸島   対論インダビュー 日本安保見直し発言   5月31日   日本   5月31日   日本	87	7月24日	長崎	法王の反核姿勢 紹介 長崎大学核兵器廃絶研究センター
90 7月27日 長崎 NEWS諸点 対路インケビュー 日米安保見恵し発音 91 7月29日 長崎 長崎 長崎 野原 電号やと遠高 92 7月29日 長崎 長崎 長崎 大学が新設計 93 7月31日 初日 変わり目のつぶやき 94 8月1日 長崎 長崎 大学大学 大学 大	88	7月25日	西日本	爆心地行ったり来たり 原爆資料館13年の日々 土山秀夫さん下 危機を前に 真実伝える
91         7月29日         長崎         長崎寺所 原像・戦争と連品           92         7月29日         長崎         製定核使用 米軍が新指針           93         7月31日         朝日         支わり目のつぶやき           95         8月3日         長崎         上の大東京野教特           96         8月3日         長崎         ローマ法王の長崎訪問に注目           97         8月3日         朝日         米口のINF金養務的失効           98         8月4日         長崎         長長衛の大学生「脅威」世界に訴え           100         8月4日         日昼         報用の不で見つけたもの           101         8月5日         長崎         核禁条的批准へ世論度そう           102         8月9日         長崎         「職務的」接頭動を含でするのとなった。           103         8月9日         長崎         核域地の叫び、長崎の医証書50年(4) 迫る前限 変わらめ使命           104         8月10日         長崎         核長衛的・アルスのの証券を含めては、会の制度変わらめ使命           105         8月16日         毎日         様長衛的・アルスのの証券を含めては、会の制度をできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	89	7月26日	山形	核兵器の存在 自ら考えよう 蔵王一中で講演会
92         7月29日         長椅         限定核使用 米軍が新指針           93         7月31日         朝日         変わり目のつぶやき           94         8月1日         長椅         長崎大レケナ・改策研究報告「核禁条約参加の議論を」           95         8月3日         長崎         INF廃棄条約執行           96         8月3日         田         ローマ法王の長崎訪問に注目           97         3月3日         田         十口マ法王の長崎訪問に注目           97         3月4日         報日         期に高皮を約失効           98         8月4日         長崎         株日の時代・核東衛送る論文を収録           100         3月4日         日極         関心高少な事務へ         長崎のかく学生「脅威」世界に訴え           101         3月5日         長崎         核禁務的批准、一世報できる         100         3月9日         長崎         核禁務的批准の間接受う           102         3月9日         長崎         核様外の間が、長崎の証書50年(4) 迫る割限 変わらめ使命         101         8月10日         長崎         原爆投下から74年「核の復産」許すまし           103         8月9日         長崎         原爆投下から74年「核の復産」計算でする         201         101         8月16日         朝日(佐賀         技夫場務所         201         201         201         201         201         201         201         201         201         201         201         201         201         201         201         201 <t< td=""><td>90</td><td>7月27日</td><td>長崎</td><td>NEWS論点 対論インタビュー 日米安保見直し発言</td></t<>	90	7月27日	長崎	NEWS論点 対論インタビュー 日米安保見直し発言
33 7月31日 朝日 東かり日のつぶやき   東村大り大・政策研究報告「核禁条約参加の議論を」   18月3日 長崎 長崎大レクナ・政策研究報告「核禁条約参加の議論を」   18月3日 長崎 日本の原発が、	91	7月29日	長崎	長崎時評 原爆・戦争と遺品
94         3月1日         長崎         長崎大力ケ・改装研究報告「核菜条約参加の講論を」           95         8月3日         長崎         INF廃棄条約執行           96         8月3日         長崎         ローマ法王の長崎訪問に注目           97         8月3日         朝日         牛口のINF金原条約失効           98         8月4日         毎日         競馬公の技事節へ、長崎の大学生「脅威」世界に訴え           100         8月4日         日経         蓋柏の木で見つけたもの           101         8月5日         長崎         核禁条約批准へ世論促そう           102         8月9日         長崎         核禁条約批准へ世論促そう           103         8月9日         長崎         振爆地の迎び、長崎の証書50年(4) 迫る刻限、変わらめ使命           104         8月10日         長崎         原爆投下から74年「核の復権」許すまし           105         8月16日         佐賀         核疾熱防(り 場上条約展望語る「核の金)調売するとき           106         8月16日         佐賀         核疾絶防え 不敬の集い、長崎大准教授が講演           107         8月20日         赤飲         核兵衛情勢・禁止条約展望語る「核の金)調売するとき           108         8月23日         長崎         ボーランド・第二文大戦の乗りを対策を持続でいまります           110         8月28日         長崎         ボーランド・第二文大戦の争りを制定との事実所を開設を持たいるできます           111         8月28日         長崎         大者が語る核兵権のをと事業           112         8月28日         長崎         大者の集会との事業をとの事業をとの事業をとの事業をとの事業をとの事業をとの事業を表します	92	7月29日	長崎	限定核使用 米軍が新指針
95   8月3日   長崎   INF廃棄条約執行   98   8月3日   長崎   ローマ法王の長崎訪問に注目   97   8月3日   朝日   米ロのINF倉庫条約失効   接種   株長器禁止条約失効   接種   長崎   長長器禁止条約失効   長崎   長長器禁止条約の助け   技術協選る論文を収録   99   8月4日   日経   関心面が枝神感   長崎の大学生「脅威」世界に訴え   101   8月5日   長崎   接籍条約批准へ世論優そう   102   8月9日   長崎   接籍条約批准へ世論優そう   103   8月9日   長崎   振復畑の叫び 長崎の証言50年(4)   30名別限 変わらめ使命   104   8月10日   長崎   振復畑の叫び 長崎の証言50年(4)   30名別限 変わらめ使命   104   8月10日   日本   105   8月16日   日本   106   8月16日   佐賀   大兵器が大りて世界に二つの流れ」長崎大津教授、佐賀で講演   107   8月20日   赤旗   核兵器付勢・禁止条約展望語る「核の傘」再考するとき   108   8月23日   明日   第2次大戦式乗 長大生ら出席へ   108   8月23日   日本   第2次大戦式乗 長大生ら出席へ   109   8月23日   長崎   ボーランド・第二次大戦の印式・最崎の3人市長に出発報告   111   8月28日   日本   県根域書手帳友の会 新会長に朝長方左男氏   112   8月28日   長崎   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	93	7月31日	朝日	変わり目のつぶやき
96         8月3日         長崎         ローマ法王の長崎訪問に注目           97         8月3日         朝日         米口のINF全廃条約失効           98         8月4日         長崎         核兵器禁止条約の時代 核軍報巡る論文を収録           100         8月4日         毎日         関心高め核軍権へ 長崎の大学生「脅威」世界に訴え           101         8月5日         長崎         被募条約批准へ世論促そう           102         8月9日         長崎         抗爆地の叫び 長崎の証言50年(4) 迫る刻膜 変わらめ使命           104         8月10日         長崎         旅爆投下から74年「核の復権」許すまじ           105         8月16日         報日(佐賀版)         枝兵器信勢・禁止条約展望語る「核の電事事するとき           106         8月16日         佐賀         核廃絶訴え 不販の集い 長崎大准教授が譲渡           107         8月20日         赤旗         核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の電」再事するとき           108         8月23日         朝日         第2次大職式費 長大生ら出席へ           108         8月23日         朝日         第2次大職式費 長大生ら出席へ           109         8月25日         朝日         東方火大大教の会主機・無対の得りを制           110         8月25日         朝日         東初間の3人市長に出発報告           111         8月28日         長崎         芸術語る長器廃絶・平利           112         8月28日         長崎         芸術が最後を発展           113         8月28日         長崎         大者が話る長器廃絶・平利           114	94	8月1日	長崎	長崎大レクナ・政策研究報告「核禁条約参加の議論を」
97       8月3日       朝日       米口のINF全廃条約失効         98       8月4日       長崎       核兵器禁止条約の時代 核軍縮巡る論文を収録         99       8月4日       毎日       脚心高め核車縮へ長崎の大学生「脅威」世界に訴え         100       8月4日       日極       蜜柑の木で見つけたもの         101       8月5日       長崎       核禁条約批准で出論促そう         102       8月9日       長崎       核婚地の叫び、長崎の証言50年(4) 迫る剣限 変わらぬ使命         104       8月10日       長崎       原爆投下から74年「枝の復権」許すまじ         105       8月16日       毎日       核廃絶訴え 不販の無い長崎大連教授が護済         106       8月16日       佐賀       核廃絶訴え 不販の無い長崎大連教授が護済         107       8月20日       赤旗       核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の傘」再等するとき         108       8月23日       朝日       第2次大戦式典 長大生ら出席へ         109       8月23日       長崎       ボーランド・第二次大戦の中主典長崎の3人市長に出発報告         110       8月25日       朝日       ボーランド・第二次大戦の中主典長崎の3人市長に出発報告         111       8月28日       朝日       県大地大の会議廃棄と計画         112       8月28日       長崎       ボーラン・フェンスト・表ののよりままままたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたま	95	8月3日	長崎	INF廃棄条約執行
8月4日 長崎 核兵器禁止条約の時代 核軍縮巡る論文を収録   99 8月4日 毎日 関心高め核軍縮へ 長崎の大学生「脅威」世界に訴え   100 8月4日 日経 密柑の木で見つけたもの   101 8月5日 長崎 核禁条約批准へ世論促そう   102 8月9日 長崎 「衝撃的」核弾頭数を音で体応 ナガサキ虹のひろば 極爆地の叫び 長崎の証言の年(4) 迫る刻限 変わらぬ使命   原爆投下から74年「核の復権」許すまじ   8月10日 長崎 原爆投下から74年「核の復権」許すまじ   8月16日 朝日 佐賀版   核兵器かくり「世界に二つの流れ」」長崎大准教授、佐賀で講演   位質   核兵器情勢・禁止条約限望語る「核の争」再考するとき   106 8月16日 佐賀   核廃絶跡え 不敬の集し 長崎のよれ重数長が講演   4兵器代勢・禁止条約限望語る「核の争」再考するとき   108 8月23日 朝日 第2次大戦式奥 長大生ら出席へ   109 8月23日 最崎 ポーランド・第二次大戦80章式乗 長崎の3人市長に出発報告   2カリ目のつぶやき 「非核非戦の隣」を前に   111 8月28日 朝日 県被爆者手帳友の会 新会長に朝長方な男氏   112 8月28日 長崎 県被爆者手帳友の会 新会長に朝長方な男氏   114 8月 朝日 日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115 9月2日 長崎   7右の原発から核爆弾の材料はできる?   116 9月3日 長崎   日韓と北朝鮮核問題 足元の脅威 共に直接を   117 9月7日 長崎 日韓と北朝鮮核問題 足元の脅威 共に直接を   118 9月19日 長崎 長大レクナ提宮 日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯前肢向け   119 9月19日 毎日 長大レクナ提宮 日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯前日   120 9月19日 長崎 長本の原務を発売をとプロ・非核化政策を提言   121 9月19日 毎日 長本大RECNA 核なきま東アジアを非核地帯に   121 9月19日 長崎 長森経療能長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集   123 10月14日 長崎 ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ   124 10月16日 朝日 日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議	96	8月3日	長崎	ローマ法王の長崎訪問に注目
99         8月4日         毎日         関心高め核車縮へ 長崎の大学生「脅威」世界に訴え           100         8月4日         日経         蜜柑の木で見つけたもの           101         8月5日         長崎         核禁条約批准へ世論促そう           102         8月9日         長崎         核爆炸の叫び 長崎の証言50年(4) 迫る剥限 変わらめ使命           104         8月10日         長崎         原爆投下から74年「核の復権」許すまじ           105         8月16日         毎日         核兵器めくり「世界に二つの流れ」長崎大准教授が講演           106         8月16日         佐賀         核廃総訴え 不戦の集い 長崎大准教授が講演           107         8月20日         赤旗         核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の傘」再考するとき           108         8月23日         朝日         第2次大戦式典 長大生台出席へ           109         8月23日         朝日         第2次大戦式典 長大生台出席へ           110         8月25日         朝日         変わり目のつぶやき 「非核非戦の確」を前に           111         8月28日         長崎         若が語る核兵器廃絶と平和           112         8月28日         長崎         若が語る核兵器廃絶と不明           114         8月         朝日グロープ         日本の原発から核爆弾の材料はできる?           115         9月2日         長崎         ながきき時評 日韓本子校大変素・大地で作が平和活動語る           117         9月7日         長崎         大人ウナ提言         日朝諸と米で支好会を制を主に直接を           118         9月9日         長崎         長崎大大の原発・大変素・大変素・大変を発	97	8月3日	朝日	米ロのINF全廃条約失効
100	98	8月4日	長崎	核兵器禁止条約の時代 核軍縮巡る論文を収録
101 8月5日 長崎 核禁条約批准へ世論促そう   102 8月9日 長崎 核禁条約批准へ世論促そう   103 8月9日 長崎 「衝撃的」核弾頭数を音で体感 ナガサキ虹のひろば   104 8月10日 長崎 嫉爆地の叫び 長崎の証言50年(4) 迫る刻限 変わらめ使命   104 8月10日 長崎 原爆投下から74年「核の復権」許すまじ   105 8月16日 朝日(佐賀版) 核兵器めぐり「世界に二つの流れ」 長崎大准教授、佐賀で講演   106 8月16日 佐賀 核廃絶訪え 不戦の集い 長崎大准教授が講演   107 8月20日 赤旗 核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の命」再考するとき   108 8月23日 朝日 第2次大戦式典 長大生ら出席へ   109 8月23日 長崎 ボーランド・第二次大戦の年式典 長崎の3人市長に出発報告   110 8月25日 朝日 変わり目のつぶやき 「非核非戦の隣」を前に   111 8月28日 朝日 県被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   112 8月28日 長崎 県被爆者手帳友の会 新会長に朝長万左男氏   113 8月28日 長崎 県被爆者手帳友の会 新会長に朝長万左男氏   114 8月 8月28日 長崎 日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115 9月2日 長崎 日本の原発から核爆弾の材料はできる?   116 9月3日 長崎 日韓土北朝鮮核問題 足元の脅威 共に直視を   117 9月7日 長崎 日韓土北朝鮮核問題 足元の脅威 共に直視を   118 9月19日 長崎 長大レクナ提言 日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119 9月19日 西日本 長崎大枝兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言   120 9月19日 西日本 長崎大枝兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言   121 9月19日 西日本 長崎大様兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言   121 1月16日 朝日 日本主導 「核女部屋の研究所と提言書 北東アジアを非核地帯に   122 10月14日 長崎   142 10月16日 朝日 日本主導 「核のる世界」に向き合う 麻痺と締めと無知の日本	99	8月4日	毎日	関心高め核軍縮へ 長崎の大学生「脅威」世界に訴え
102   8月9日   長崎   「衝撃的」核弾頭数を音で体感 ナガサキ虹のひろば   103   8月9日   長崎   被爆地の叫び 長崎の証言50年(4) 迫る刻限 変わらめ使命   104   8月10日   長崎   原爆投下から74年「核の復権」許寸まじ   105   8月16日   朝日(佐賀版)   核兵器めぐり「世界に二つの流れ」 長崎大准教授、佐賀で講演   106   8月16日   佐賀   核廃総訴え 不戦の集い 長崎大准教授が講演   107   8月20日   赤旗   核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の傘」再考するとき   108   8月23日   朝日   第2次大戦式典 長大生ら出席へ   109   8月23日   長崎   ボーランド・第二次大戦80年式典 長崎の3人市長に出発報告   110   8月28日   朝日   東抜爆者手帳友の会 新金長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   111   8月28日   朝日   県抜爆者手帳友の会 新金長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   112   8月28日   長崎   県抜爆者手帳友の会 新金長に朝長万左男氏   114   8月   8月29日   日本の原発から核爆弾の材料はできる?   15   9月2日   長崎   浜布1条の金主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る   17   9月7日   長崎   長木レクナ提言   日朝乾と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   長崎   長大レクナ提言   日朝乾と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   西日本   長崎大RECNA   核なき北東アジアへ提言   法的拘束力強め不可逆性高める   120   9月19日   西日本   長崎大民ECNA   核なき北東アジアへ提言   北東アジアを非核地帯に   121   9月19日   長崎   長大レクナ 韓国の研究所と提言書   北東アジアを非核地帯に   122   10月4日   長崎   核兵器廃絶長橋連絡に議会「ユース代表団」8期生を募集   121   10月16日   朝日   日本主導 「核のごみ」対策   14カ国が初会議   14カ国が初会議   14カ国が初会議   14カ目が初会議   14カ目が初会   14カ目が初生を開始している   14カ目が初会   14カ目が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が	100	8月4日	日経	蜜柑の木で見つけたもの
103	101	8月5日	長崎	核禁条約批准へ世論促そう
104   8月10日   長崎   原爆投下から74年「核の復権」許すまじ   朝日(佐賀版)   核兵器めぐり「世界に二つの流れ」 長崎大准教授、佐賀で講演   核兵器内・リー・   大変を終する 不戦の集い 長崎大准教授が講演   107   8月20日   赤旗   核兵器侍勢・禁止条約展望語る「核の傘」再考するとき   朝日   第2次大戦式典 長大生も出席へ   109   8月23日   長崎   ボーランド・第二次大戦80年式典 長崎の3人市長に出発報告   110   8月25日   朝日   変わり目のつぶやき 「非核非戦の碑」を前に   111   8月28日   朝日   県城爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   112   8月28日   長崎   若者が語る核兵器廃絶と平和   113   8月28日   長崎   共成爆者手帳友の会 新会長に朝長方を男氏   114   8月   朝日グローブ   日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115   9月2日   長崎   ながさき時評 日韓軍事協定破棄   地域秩序を考え直す好機   116   9月3日   長崎   日韓と北朝鮮核問題   足元の脅威 共に直視を   117   9月7日   長崎   長太レクナ提言   日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   長崎   長大氏系操廃絶研究センター 非核化政策を提言   121   9月19日   西日本   長崎大株兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言   121   9月19日   長崎   核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言   121   9月19日   長崎   核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言   121   10月16日   長崎   核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集   123   10月16日   明日   日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議   125   10月24日   明日   「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	102	8月9日	長崎	「衝撃的」核弾頭数を音で体感 ナガサキ虹のひろば
105   8月16日 朝日(佐賀版)   核兵器めぐり「世界に二つの流れ」 長崎大准教授、佐賀で講演   107   8月20日   赤旗   核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の傘」再考するとき   108   8月23日   第2次大戦式典 長大生ら出席へ   109   8月23日   長崎   ボーランド・第二・次大戦80年式典 長崎の3人市長に出発報告   110   8月25日   朝日   東被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   111   8月28日   日本の原発から核爆弾の材料はできる?   112   8月28日   日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115   9月2日   長崎   滑石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る   116   9月3日   長崎   長本レクナ提言   日朝乾と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   長崎   長本レクナ提言   日朝較と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   日本・長崎大杯長器廃絶研究センター 非核化政策を提言   121   9月19日   日本・長崎大林兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言   121   10月4日   長崎   大レクナ 韓国の研究所と提言書   北東アジア非核地帯に   122   10月4日   長崎   大ながさき時評 軍事研究問題   科学者としての矜持示せ   124   10月16日   朝日   日本主導 「核のごみ」対策 14月国が初会議   125   10月24日   朝日   「核ある世界」に向き合う 麻痺と締めと無知の日本	103	8月9日	長崎	被爆地の叫び 長崎の証言50年〈4〉 迫る刻限 変わらぬ使命
106   8月16日   佐賀   核廃絶訴え 不戦の集い 長崎大准教授が講演   107   8月20日   赤旗   核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の傘」再考するとき   108   8月23日   朝日   第2次大戦式典 長大生ら出席へ   109   8月23日   長崎   ボーランド・第二次大戦80年式典 長崎の3人市長に出発報告   110   8月25日   朝日   東被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   111   8月28日   長崎   岩者が語る核兵器廃絶と平和   113   8月28日   長崎   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長方左男氏   114   8月   朝日グローブ   日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115   9月2日   長崎   海石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る   117   9月1日   長崎   長本と・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	104	8月10日	長崎	原爆投下から74年 「核の復権」許すまじ
107   8月20日   赤旗   核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の傘」再考するとき   108   8月23日   朝日   第2次大戦式典 長大生ら出席へ   109   8月23日   長崎   ポーランド・第二次大戦80年式典 長崎の3人市長に出発報告   110   8月25日   朝日   蒙わり目のつぶやき 「非核非戦の碑」を前に   111   8月28日   朝日   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   112   8月28日   長崎   岩者が語る核兵器廃絶と平和   113   8月28日   長崎   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長万左男氏   114   8月   朝日グローブ   日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115   9月2日   長崎   冷石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る   117   9月3日   長崎   月初3日   長崎   長崎   長木レクナ提言   日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   118   9月19日   長崎   長大レクナ提言   日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   朝日   長崎大RECNA   核なき北東アジアへ提言   法的拘束力強め不可逆性高める   120   9月19日   毎日   長大レクナ 韓国の研究所と提言書   北東アジアを非核地帯に   121   9月19日   毎日   長大レクナ 韓国の研究所と提言書   北東アジアを非核地帯に   122   10月4日   長崎   核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集   123   10月14日   長崎   ながさき時評 軍事研究問題   科学者としての矜持示せ   124   10月16日   朝日   日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議   125   10月24日   朝日   「核ある世界」に向き合う   麻痺と除めと無知の日本	105	8月16日	朝日(佐賀版)	核兵器めぐり「世界に二つの流れ」 長崎大准教授、佐賀で講演
108   8月23日   朝日   第2次大戦式典 長大生ら出席へ   109   8月23日   長崎   ポーランド・第二次大戦80年式典 長崎の3人市長に出発報告   110   8月25日   朝日   変わり目のつぶやき 「非核非戦の碑」を前に   111   8月28日   朝日   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   112   8月28日   長崎   若者が語る核兵器廃絶と平和   113   8月28日   長崎   県被爆者手帳友の会   新会長に朝長万左男氏   114   8月   朝日グローブ   日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115   9月2日   長崎   滑石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る   117   9月7日   長崎   日韓と北朝鮮核問題   足元の脅威 共に直視を   118   9月19日   長崎   長大レクナ提言   日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   朝日   長崎大RECNA   核なき北東アジアへ提言 法的拘束力強め不可逆性高める   120   9月19日   西日本   長崎大核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言   121   9月19日   毎日   長大レクナ 韓国の研究所と提言書   北東アジアを非核地帯に   122   10月4日   長崎   核兵器廃絶研究センター   非核化政策を提言   121   10月14日   長崎   ながさき時評   軍事研究問題   科学者としての矜持示せ   124   10月16日   朝日   日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議   125   10月24日   朝日   「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	106	8月16日	佐賀	核廃絶訴え 不戦の集い 長崎大准教授が講演
109   8月23日   長崎 ボーランド・第二次大戦80年式典 長崎の3人市長に出発報告   110   8月25日   朝日 変わり目のつぶやき 「非核非戦の碑」を前に   111   8月28日   朝日   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」   112   8月28日   長崎   若者が語る核兵器廃絶と平和   113   8月28日   長崎   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長万左男氏   114   8月   朝日グローブ   日本の原発から核爆弾の材料はできる?	107	8月20日	赤旗	核兵器情勢・禁止条約展望語る「核の傘」再考するとき
## 110 8月25日 朝日 変わり目のつぶやき 「非核非戦の碑」を前に ## 111 8月28日 朝日 県被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」 ## 112 8月28日 長崎 若者が語る核兵器廃絶と平和 ## 113 8月28日 長崎 県被爆者手帳友の会 新会長に朝長万左男氏 ## 114 8月 朝日グローブ 日本の原発から核爆弾の材料はできる? ## 115 9月2日 長崎 ながさき時評 日韓軍事協定破棄 地域秩序を考え直す好機 ## 116 9月3日 長崎 滑石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る ## 117 9月7日 長崎 日韓と北朝鮮核問題 足元の脅威 共に直視を ## 118 9月19日 長崎 長大レクナ提言 日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け ## 119 9月19日 朝日 長崎大レクナ提言 日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け ## 119 9月19日 西日本 長崎大核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言 ## 120 9月19日 西日本 長崎大核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言 ## 121 9月19日 毎日 長大レクナ 韓国の研究所と提言書 北東アジアを非核地帯に ## 122 10月4日 長崎 核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集 ## 123 10月14日 長崎 ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ ## 124 10月16日 朝日 日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議 ## 125 10月24日 朝日 「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	108	8月23日	朝日	第2次大戦式典 長大生ら出席へ
111   8月28日   朝日   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」	109	8月23日	長崎	ポーランド・第二次大戦80年式典 長崎の3人市長に出発報告
112   8月28日   長崎   若者が語る核兵器廃絶と平和   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長万左男氏   114   8月   朝日グローブ   日本の原発から核爆弾の材料はできる?	110	8月25日	朝日	変わり目のつぶやき 「非核非戦の碑」を前に
113   8月28日   長崎   県被爆者手帳友の会 新会長に朝長万左男氏   114   8月   朝日グローブ   日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115   9月2日   長崎   ながさき時評 日韓軍事協定破棄 地域秩序を考え直す好機   116   9月3日   長崎   滑石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る   117   9月7日   長崎   日韓と北朝鮮核問題   足元の脅威   共に直視を   118   9月19日   長崎   長大レクナ提言   日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   朝日   長崎大RECNA   核なき北東アジアへ提言   法的拘束力強め不可逆性高める   120   9月19日   西日本   長崎大核兵器廃絶研究センター   非核化政策を提言   121   9月19日   毎日   長大レクナ   韓国の研究所と提言書   北東アジアを非核地帯に   122   10月4日   長崎   核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集   123   10月14日   長崎   ながさき時評   軍事研究問題   科学者としての矜持示せ   124   10月16日   朝日   日本主導 「核のごみ」対策   14カ国が初会議   125   10月24日   朝日   「核ある世界」に向き合う   麻痺と諦めと無知の日本	111	8月28日	朝日	県被爆者手帳友の会 新会長に朝長さん「医療・福祉の充実めざす」
114   8月 朝日グローブ 日本の原発から核爆弾の材料はできる?   115   9月2日   長崎   ながさき時評 日韓軍事協定破棄   地域秩序を考え直す好機   116   9月3日   長崎   滑石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る   117   9月7日   長崎   日韓と北朝鮮核問題   足元の脅威   共に直視を   118   9月19日   長崎   長大レクナ提言   日朝韓と米で友好条約を   北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   朝日   長崎大RECNA   核なき北東アジアへ提言   法的拘束力強め不可逆性高める   120   9月19日   西日本   長崎大核兵器廃絶研究センター   非核化政策を提言   121   9月19日   毎日   長大レクナ   韓国の研究所と提言書   北東アジアを非核地帯に   122   10月4日   長崎   核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集   123   10月14日   長崎   ながさき時評   軍事研究問題   科学者としての矜持示せ   124   10月16日   朝日   日本主導   「核のごみ」対策   14カ国が初会議   125   10月24日   朝日   「核ある世界」に向き合う   麻痺と諦めと無知の日本	112	8月28日	長崎	若者が語る核兵器廃絶と平和
115 9月2日 長崎 ながさき時評 日韓軍事協定破棄 地域秩序を考え直す好機 116 9月3日 長崎 滑石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る 117 9月7日 長崎 日韓と北朝鮮核問題 足元の脅威 共に直視を 118 9月19日 長崎 長大レクナ提言 日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け 119 9月19日 朝日 長崎大RECNA 核なき北東アジアへ提言 法的拘束力強め不可逆性高める 120 9月19日 西日本 長崎大核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言 121 9月19日 毎日 長大レクナ 韓国の研究所と提言書 北東アジアを非核地帯に 122 10月4日 長崎 核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集 123 10月14日 長崎 ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ 124 10月16日 朝日 日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議 125 10月24日 朝日 「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	113	8月28日	長崎	県被爆者手帳友の会 新会長に朝長万左男氏
116   9月3日   長崎   滑石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る   117   9月7日   長崎   日韓と北朝鮮核問題   足元の脅威 共に直視を   118   9月19日   長崎   長大レクナ提言   日朝韓と米で友好条約を   北東アジア非核地帯創設向け   119   9月19日   朝日   長崎大RECNA   核なき北東アジアへ提言   法的拘束力強め不可逆性高める   120   9月19日   西日本   長崎大核兵器廃絶研究センター   非核化政策を提言   121   9月19日   毎日   長大レクナ   韓国の研究所と提言書   北東アジアを非核地帯に   122   10月4日   長崎   核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集   123   10月14日   長崎   ながさき時評   軍事研究問題   科学者としての矜持示せ   124   10月16日   朝日   日本主導   「核のごみ」対策   14カ国が初会議   125   10月24日   朝日   「核ある世界」に向き合う   麻痺と諦めと無知の日本	114	8月	朝日グローブ	日本の原発から核爆弾の材料はできる?
117   9月7日   長崎   日韓と北朝鮮核問題   足元の脅威 共に直視を   長大レクナ提言   日朝韓と米で友好条約を   北東アジア非核地帯創設向け   118   9月19日   朝日   長崎大RECNA   核なき北東アジアへ提言   法的拘束力強め不可逆性高める   120   9月19日   西日本   長崎大核兵器廃絶研究センター   非核化政策を提言   121   9月19日   毎日   長大レクナ   韓国の研究所と提言書   北東アジアを非核地帯に   122   10月4日   長崎   核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集   123   10月14日   長崎   ながさき時評   軍事研究問題   科学者としての矜持示せ   124   10月16日   朝日   日本主導 「核のごみ」対策   14カ国が初会議   125   10月24日   朝日   「核ある世界」に向き合う   麻痺と諦めと無知の日本	115	9月2日	長崎	ながさき時評 日韓軍事協定破棄 地域秩序を考え直す好機
1189月19日長崎長大レクナ提言日朝韓と米で友好条約を北東アジア非核地帯創設向け1199月19日朝日長崎大RECNA 核なき北東アジアへ提言 法的拘束力強め不可逆性高める1209月19日西日本長崎大核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言1219月19日毎日長大レクナ 韓国の研究所と提言書北東アジアを非核地帯に12210月4日長崎核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集12310月14日長崎ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ12410月16日朝日日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議12510月24日朝日「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	116	9月3日	長崎	滑石九条の会主催「考えるつどい」で 若い世代が平和活動語る
119       9月19日       朝日       長崎大RECNA 核なき北東アジアへ提言 法的拘束力強め不可逆性高める         120       9月19日       西日本       長崎大核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言         121       9月19日       毎日       長大レクナ 韓国の研究所と提言書 北東アジアを非核地帯に         122       10月4日       長崎       核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集         123       10月14日       長崎       ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ         124       10月16日       朝日       日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議         125       10月24日       朝日       「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	117	9月7日	長崎	日韓と北朝鮮核問題 足元の脅威 共に直視を
120     9月19日     西日本     長崎大核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言       121     9月19日     毎日     長大レクナ 韓国の研究所と提言書 北東アジアを非核地帯に       122     10月4日     長崎     核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集       123     10月14日     長崎     ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ       124     10月16日     朝日     日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議       125     10月24日     朝日     「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	118	9月19日	長崎	長大レクナ提言 日朝韓と米で友好条約を 北東アジア非核地帯創設向け
121     9月19日     毎日     長大レクナ 韓国の研究所と提言書 北東アジアを非核地帯に       122     10月4日     長崎     核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集       123     10月14日     長崎     ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ       124     10月16日     朝日     日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議       125     10月24日     朝日     「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	119	9月19日	朝日	長崎大RECNA 核なき北東アジアへ提言 法的拘束力強め不可逆性高める
122     10月4日     長崎     核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集       123     10月14日     長崎     ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ       124     10月16日     朝日     日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議       125     10月24日     朝日     「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	120	9月19日	西日本	長崎大核兵器廃絶研究センター 非核化政策を提言
123     10月14日     長崎     ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ       124     10月16日     朝日     日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議       125     10月24日     朝日     「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	121	9月19日	毎日	長大レクナ 韓国の研究所と提言書 北東アジアを非核地帯に
124     10月16日     朝日     日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議       125     10月24日     朝日     「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	122	10月4日	長崎	核兵器廃絶長崎連絡協議会「ユース代表団」8期生を募集
125 10月24日 朝日 「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本	123	10月14日	長崎	ながさき時評 軍事研究問題 科学者としての矜持示せ
	124	10月16日	朝日	日本主導 「核のごみ」対策 14カ国が初会議
126 10月25日 長崎 政府人道上の「懸念」削除 国連への核廃絶決議案	125	10月24日	朝日	「核ある世界」に向き合う 麻痺と諦めと無知の日本
	126	10月25日	長崎	政府人道上の「懸念」削除 国連への核廃絶決議案

接手  日付   新聞   長崎の証言の会 12人奴録の「証言」「技兵器、多人巡的でむご、説識を」   10月26日   長崎   長崎の証言の会 12人奴録の「証言」「技兵器、多人巡的でむご、説識を」   10月27日   明日   核のボタン傷る「奇妙な人」   核のボタン傷る「奇妙な人」   核のボタン傷る「奇妙な人」   核のボタン傷る「奇妙な人」   核のボタン傷る「奇妙な人」   核のボタン傷る「奇妙な人」   核のボタン傷る「奇妙な人」   核のボタン傷る「奇妙な人」   核のボタン傷る「奇妙な人」   11月2日   明日   英語の「放送者の声」前隊書に   11月2日   明日   英語の「放送者の声」前隊書に   11月2日   現時   採事をへを変もが「「賢人会議」が報告書   11月2日   現時   採事をへを変もが「「賢人会議」が報告書   11月1日   明日   英崎   保保テーマ「ナガサニ」の書音 サザードとん (建定   11月1日   日   日   日   日   日   日   日   日   日		·		
10月28日 長崎 長崎の証言の金「証言2019 ナガサキ・ヒロシマの声)発行   128   10月27日   割日   核の将少量も予辨かな」   11月2日   長崎   核の存換 日本の核疾絶決議案 モラルの高がに立てぬ故類国   11月2日   朝日   核取解心を発売らず   質人会議が解答   11月12日   朝日   核取解心を発売らず   質人会議が解答   11月12日   現時   核取解心を発売らず   質人会議が解答   11月12日   現時   採用の作家・サザードとん 長崎で講察   25日、長崎大工条金 大学上も布まが企画 書書の社会参画考えよう   11月14日   朝日   長崎大工条金 大学上も布まが企画 書書の社会参画考えよう   11月14日   朝日   長崎大工条金 大学上も有まが企画 書書の社会参画考えよう   11月14日   朝日   長崎大田孫の大豊   48年前、経験信権の語が変えた   11月14日   現日   長崎   近江条崎を行っ(上) 朝長万左男念ん 核保有国を動かして   11月27日   長崎   女のかさき時許「長崎の証言」運動50年「普通の被揮者」の声 記録   11月29日   長崎   数立学時で「小田・藤田   11月27日   長崎   数立学時で「小田・藤田   11月27日   長崎   数立学時で「小田・藤田   11月27日   長崎   数立学時で「小田・藤田   11月27日   長崎   日本の大学工作機構を 市長案前   経承へ21年度から   12月2日   長崎   日本の大学工作機構を 市長案前   経承へ21年度から   12月2日   長崎   日本の大学工作機構を 市長案前   経承へ21年度から   12月21日   長崎   大がサキ・ユース代表団第8課生「思いを行動に移したい」   12月21日   長崎   数立学レモージに応えたい   140   12月21日   長崎   大がサキ・ユース代表団第8課生「思いを行動に移したい」   12月21日   長崎   大変とが附近れたか   12月21日   長崎   大変とが開かました。   大変とが開からです。   1月13日   長崎   大変とが同からが手が開から   1月13日   長崎   大変とが同からが手が開からが発売   1月13日   長崎   大変とが同から移動   1月15日   長崎   大変とが開からが発酵を   14年7日   長崎   大変とが開かるのでが手を下が開から上が表り書がまた。   1月15日   長崎   大変とが明示をが開かれたが開す   1月15日   長崎   大変とが明示をが開かれたが開す   1月15日   長崎   大変とを使用でを持めが同じまたが、19日2日   長崎   大変とを使用でを持めらができていたが   15日と表大レクナ   15日と表レクナ   15日と表レクサ   15日と表レクナ   15日と表レクナ   15日と表レクサ   15日と表レクト   15日と表	番号	日付	新聞	見出し
10月27日 朝日 核のボタン優を「奇妙な人」   1月2日 長崎 株の評論 日本の核療性技謀案 モラルの高みに立て始被傾回   131   11月4日 朝日 英雄へを含至らず 「夏 会護」が報告を   132   11月12日 長崎 麻婆へを含至らず 「夏 会護」が報告を   133   11月12日 長崎 原漢テーマ「ナガサキ」の書き サザードさん決決   134   11月12日 長崎 原漢テーマ「ナガサキ」の書き サザードさん決決   135   11月14日 朝日 米国の作家・サザードさん 長崎で改変   11月14日 朝日 大明 大明 大田の作家・サザードさん 長崎で改変   11月14日 朝日 大明 大田 大明 大田の作家・サザードさん 長崎で改変   11月14日 朝日 大明 大田の作家・サザードとの 長崎 海豚の木田の   11月15日 長崎 法王来将を待つ(上) 新長万左男さん 核保有国を動かして ながさき時野「長崎の証書」運動ので、「漫画の演導者」の声 記録 対 11月27日 長崎 数とサセージに必然 長崎大田で「漫画の演導者」の声 記録 11月27日 長崎 数とがセージに必然 長崎大田できる   13月3日 長崎 大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	127	10月26日	朝日	長崎の証言の会 12人収録の「証言」 「核兵器、非人道的でむごい 認識を」
130   11月2日 長崎   技術部譜 日本の核疾絶決議案 モラルの高がに立て始執知国   131   11月4日   91日   英語の「被傷者の声」翻訳書に   11月1日   91日   英語の「被傷者の声」翻訳書に   11月12日   長崎   原属テーマ「ナガサキ」の著者 サザードさん。講演   72月   11月12日   長崎   原属テーマ「ナガサキ」の著者 サザードさん。講演   72月   72月   73月   73	128	10月26日	長崎	長崎の証言の会「証言2019 ナガサキ・ヒロシマの声」発行
131   11月4日 朝日 英語の「被爆者の声」翻訳書に   11月1日   11	129	10月27日	朝日	核のボタン握る「奇妙な人」
132   11月12日   長崎   原爆テーマ「ナガサキ」の基名 サザードさん議演   11月12日   長崎   原爆テーマ「ナガサキ」の基名 サザードさん議演   11月14日   別日   米国の作家・サザードさん 長崎で講演   25日、長崎大で集会 大学生ら有志が企画 著名の社会参画考えよう   11月14日   別日   長崎   と5日、長崎大で集会 大学生ら有志が企画 著名の社会参画考えよう   11月14日   別日   長崎   と5日、長崎大の書籍・歌信権の語)変えた   11月19日   長崎   左正末棒を待つ(上) 部長万左男さん 核採有国を動かして   長崎   なかさき時野「長崎の証書」運動50年「普通の被獲者」の声 記録   11月26日   長崎   なかさき時野「長崎の証書」運動50年「普通の被獲者」の声 記録   数里メッセージに必銘   長崎大の学生ら語り合う   11月27日   長崎   数里メッセージに必銘   長崎大の学生ら語り合う   11月27日   長崎   数里メッセージに必然   長崎大の学生の語り   11月27日   長崎   田内ちの大学で原爆展を 市長高向   継承へ21年度から   12月2日   長崎   田内ちの大学で原爆展を 市長高向   継承へ21年度から   ナガサキーユース代表型第8割生「思いを行動に移したい」   12月5日   長崎   上ガサキーユース代表型第8割生「思いを行動に移したい」   12月21日   長崎   大ガサキーユース代表型第8割生「思いを行動に移したい」   12月21日   長崎   大ガサースース代表型第8割生「思いを行動に移したい」   12月21日   長崎   大ガサースース代表型第8割生「思いを行動に移したい」   12月21日   長崎   大ガサースース代表型第8割生「思いを行動に移したい」   12月21日   長崎   大がサースース代表型第8割生「思いを行動に移したい」   12月21日   長崎   大学がとラー氏の対策を開発   12月21日   長崎   大学がとラー氏の対策を開発   12月21日   長崎   大学アンアモル   数計の表型を開発   12月21日   長崎   大学アンアモル   数計の表型を開発   11月15日   長崎   米専門家11日   長崎   大製がらNPT部級化 レクナの中村准教授が議論   1月15日   長崎   小型核のアジア配価は   1月15日   長崎   小型核のアジア配価は対策   1月15日   1月15日   長崎   小型核のアジア配価は対策   1月15日に表たレクナ   15日に表たレクナ   15日に表・ビス・リカドス・ビス・レクナ   15日に表・ビス・レク・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・ビス・	130	11月2日	長崎	核心評論 日本の核廃絶決議案 モラルの高みに立てぬ被爆国
133   11月12日 長崎 原爆テーマ「ナガサキ」の著名 サザードさん議演   11月12日 朝日 米国の作家・サザードさん 長崎で講演   11月14日 長崎 25日、長崎大下葉金 大学生ら有高が企画 著者の社会参画考えよう   11月14日 朝日 長崎、26日、長崎大下葉金 大学生ら有高が企画 著者の社会参画考えよう   11月15日 長崎 法王某崎を待つ(上) 朝長万左男さん 核保有国を動かして   137   11月15日 長崎 などき時評「長崎の証言」運動50年「普通の被婦者」の声 記録   11月25日 長崎 教皇・水・一ジに成銘 長崎大で学生ら語からす   2月15日 長崎 教皇・水・一ジに成銘 長崎大で学生ら語からう   2月15日 長崎 対しまれたい」   11月25日 長崎 教皇・水・一ジに成銘 長崎大で学生ら語からう   2月15日 長崎 対力判別に大いし   2月15日 長崎 大力サキ・ユース代表図第8用生「思いを行動に移したい」   11月27日 長崎 大力サキ・ユース代表図第8用生「思いを行動に移したい」   2月15日 長崎 大力サキ・ユース代表図第8用生「思いを行動に移したい」   2月17日 長崎 教皇・メ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131	11月4日	朝日	英語の「被爆者の声」翻訳書に
134   11月12日 朝日 米国の作家・サザードンル 長崎で請演   11月14日 長崎 25日、長崎大下原会 大学生ら有志が企画 著者の社会参画考えよう   11月14日 朝日 長崎大下原後和表示党員 38日前、破信信仰の指り変えた   3日 11月15日 長崎 法王来崎を待つ(上) 朝長万左男会心 核保有国を動かして 長崎 法王・崎を待つ(上) 朝長万左男会心 核保有国を動かして 長崎 ながき時評 「長崎の証言」連動の句 「普通の被媒者」の声 記録   11月25日 長崎 校皇 メッセージに応銘 長崎大で学生ら語り合う 教皇 末崎 その意義 爆心地から世界へ直言   11月26日 長崎 校皇 メッセージに応銘 長崎大で学生ら語り合う   141 11月27日 長崎 校皇 メッセージに応銘 長崎大で学生ら語り合う   142 11月30日 毎日 原子カ利用に先べん   12月2日	132	11月5日	朝日	核軍縮へ合意至らず 「賢人会議」が報告書
135   11月14日 長崎   25日 長崎大で集会 大学生ら有恋が企画 著者の社会参画考えよう   11月14日   11月14日   11月15日   長崎   法正案局を持ったし   割長万左男えん 核保有国を勧かして   西日本   長崎婦心地から発信 教皇「核は守ってくれない」   138   11月25日   西日本   長崎婦心地から発信 教皇「核は守ってくれない」   11月25日   長崎   女がさき時ず「長崎の証言」運動50年「普通の核婚者」の声 記録   11月26日   長崎   数皇・ケーンに恋然   長崎大で学生ら部分合う   11月27日   長崎   数皇・火ルーンに恋然   長崎大で学生ら部分合う   141   11月29日   長崎   四一マ教皇の郷心地訪問   「人間がし間に問う折り   141   12月2日   長崎   田一マ教皇の郷心地訪問   「人間がし間に問う折り   142   12月5日   長崎   田内下の大学で原境原を   市長窓向   総承へ21年度から   145   12月5日   長崎   日内下の大学で原境原を   市長窓向   総承へ21年度から   147   12月21日   長崎   大がサキ・ユース代表団第8財生「思いを行動に移したい」   148   12月23日   長崎   トランブ氏、核戦力強化か   148   12月23日   長崎   トランブ氏、核戦力強化か   149   12月24日   長崎   大藤中下末11   五年の講演   報析核のアジア記憶は   1月18日   長崎   大藤中下末11   五年の講演   報析核のアジア記憶は   1月19日   長崎   大藤中下末11   日本ので講演   1月12日   長崎   大藤根かアジアに配検討   「向外れ」と米専門家   151   1月13日   長崎   保証・公・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	133	11月12日	長崎	原爆テーマ「ナガサキ」の著者 サザードさん講演
136   11月14日   朝日 長崎大・四條加惠研究員 38年前、被陽信徒の語り変えた   137   11月18日 長崎 法王来崎を待つ(上) 朝長万左男さん 核保有国を動かして   138   11月25日   西日本 長崎崎心地から発信 教皇「核はつつてくれない」   11月26日   長崎 ないさき時評「長崎の証言」運動50年「普通の破傷者」の声 記録   数皇メッセージに応銘 長崎大で学生ら語り合う   11月27日   長崎 教皇よ神 その意義 爆心地から世界へ直言   140   11月27日   長崎 教皇よ神 その意義 爆心地から世界へ直言   141   11月29日   長崎 原子力利用に先べん   143   12月2日   明日 ローマ教皇の場心地訪問 「人間が人間に問う折り   144   12月5日   長崎 国内50大学で原始展を 市長意向 経承へ21年度から   12月5日   長崎 対・ガサキ・ユース代表団第8月2年「思いを行動に移したい」   145   12月5日   長崎 女と・ソセージに応えたい   146   12月2日   長崎 女皇・ソセージに応えたい   147   12月21日   長崎 女皇・ソセージに応えたい   148   12月23日   長崎 トランブ氏、核親力強化か   149   12月24日   朝日   旧らの外間センター長ら対談「核兵器」の意味 映画通じ考える   北東アジア平和へ 教材・教育課職を開発   1月30日   長崎 北東アジア平和へ 教材・教育課職を開発   1月18日   長崎 北東アジア平和へ 教材・教育課職を開発   1月19日   長崎 小型核のアジア配倫技計 「の外れ」と米専門家   1月19日   長崎 保証大後、長崎で講演 報析核のアジア配倫技計 対中関係の悪化懸念   1月13日   長崎 保証大後、長崎市長を訪問 レクナ 教育事業にに期待   151   1月22日   長崎 ゲンゴリー・カラーキー氏・米銭特核兵器のアジア配偽技計 対中関係の悪化懸念   156   2月4日   長崎 「麻瘡大後、長崎市長を訪問 レクナ教育事業にに期待   158   2月5日   長崎 長本レクナ 教皇被虐地訪問で研究報告「核使用の数居高く」   161   2月5日   長崎 長大レクナ 教皇被雇地訪問で研究報告「核使用の数居高く」   161   2月5日   長崎 長大レクナ 教皇被雇場前間で研究報告「核使用の数居高く」   162   2月5日   長崎 長天しので活演 核薬稿への多か「非常に悪い状況」   163   2月18日   長崎 核医動を気軽に認ら   164   2月18日   長崎 核関語を気軽に認ら   165   2月20日   長崎 核関語を気軽に認ら   166   2月20日   長崎 核関語を気軽に認ら   167   1月20日   長崎 核関語を気軽に認ら   168   2月20日   長崎 核関語を気軽に認ら   169   2月20日   長崎 核関語を気軽に記ら   169   2月20日   長崎 核関語を気軽に認ら   169   2月20日   169	134	11月12日	朝日	米国の作家・サザードさん 長崎で講演
137   11月19日 長崎 法王来崎を侍つ(上) 朝長万を男さん 核保有国を動かして   138   11月25日   西日本   長崎爆心地から発信 数星「核は守ってくれない」	135	11月14日	長崎	25日、長崎大で集会 大学生ら有志が企画 若者の社会参画考えよう
138   11月25日 西日本   長崎畑心地から発信 教皇「核は守ってくれない」   11月26日   長崎 ながさき時評「長崎の証言」運動50年「普通の被爆者」の声 記録   数皇永崎 その意義 婦心地から世界へ直言   30   31月27日   長崎   数皇永崎 その意義 婦心地から世界へ直言   31月30日   毎日   原子力利用に失べん   143   12月2日   朝日   ローマ教皇の爆心地訪問 「人間が人間に問う」祈り   12月5日   長崎   国内50大学で原偏履を 市長窓向   継承へ21年度から   145   12月5日   長崎   日内50大学で原偏度を 市長窓向   継承へ21年度から   147   12月5日   長崎   大がサキ・ユース代表団第8期生「思いを行動に移したい」   51月17日   長崎   大がサキ・ユース代表団第8期生「思いを行動に移したい」   51月17日   長崎   大がサキ・ユース代表団第8期生「思いを行動に移したい」   51月17日   長崎   大歩アッナで、原属値移会時成へ   51月17日   長崎   大歩アッナで、原属値移会時成へ   51月17日   長崎   トランブ氏、核親力強化か   51月17日   長崎   トランブ氏、核親力強化か   51月30日   長崎   北東アジア平和へ   数材・教育課程を開発   北東アジア平和へ   数材・教育課程を開発   31月18日   長崎   米等門家11日   長崎で護済   戦市核のアジア配債は   31月17日   長崎   小型核のアジア配債を設けび渡済   51月17日   長崎   小型核のアジア配債を設けび渡済   51月17日   長崎   小型核のアジア配債を設けび渡済   51月17日   長崎   大型する中東信勢   林田園を設に送ぎ   51月17日   長崎   大型する中東信勢   林田園を設に起じて   長崎大教氏・関係の関係へした」   51月18日   長崎   大型・教皇・田   RECNA分析「核兵器後用の数居高く」   51月18日   長崎   長井の大の分析「核兵器を開用の数居高く」   41月18日   長崎   長井の大の子   51月18日   長崎   長井の大の分析「核兵器を関するかいので、現れているのより、非常に悪い状況」   51月18日   長崎   長大レクナ「継承」テーマにジンボ   資料保存、次世代育成が必要   162   2月18日   長崎   核田園を気軽に高ろう   4月18日   長崎   核間固定気軽に高ろう   4月18日   長崎   核間固定気軽に高ろう   4月18日   長崎   核間固定気料に高ろう   51月18日   長崎   核間の逆行をいかに売屋するかいりする機能に向け返済   51月18日   51月18	136	11月14日	朝日	長崎大・四條知恵研究員 38年前、被爆信徒の語り変えた
139   11月26日 長崎 ながさき時評「長崎の証言」運動50年「普通の核媒者」の声記録   140   11月27日 長崎 牧皇メッセージに感銘 長崎大で学生ら語り合う   141   11月29日 長崎 牧皇メッセージに感銘 長崎大で学生ら語り合う   142   11月30日   毎日   原子力利用に先べん   143   12月2日   明日   ローマ教皇の婚心地訪問   「人間が人間に問う折り   144   12月5日   長崎   国内50大学で原爆展を 市長竜向 継承へ21年度から   145   12月7日   長崎   数皇メッセージに応えたい   147   12月7日   長崎   数皇メッセージに応えたい   147   12月21日   長崎   長崎連絡会転成へ   148   12月23日   長崎   トランブ氏・核戦力強化か   14月21日   長崎   トランブ氏・核戦力強化か   14月21日   長崎   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   12月20日   長崎   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   1月10日   長崎   米専門家11日   長崎で譲済   戦前核のアジア配備は   決契ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が譲済   1月13日   長崎   緊迫する中村性教授が譲済   1月13日   長崎   緊迫する中村性教授が譲済   1月13日   長崎   緊迫する中間・教問題を殺はこ影と響   155   1月22日   長崎   「報燈・報後史研究」で総括シンボ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   「報燈・報後史研究」で総括シンボ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   「報燈・報後史研究」で総括シンボ   15日に長大レクナ   158   2月4日   中国   核問題・映画で身近に感じて  長崎大レクナ   長崎   長大レクナ   教皇来日   RECNA分析   「核長養使用の数居高く」   159   2月5日   長崎   長大レクナ   発達機能訪問で研究報告   「核使用の数居高く」   161   2月5日   長崎   長大レクナ   2月3日   長崎   長大レクナ   2月3日   長崎   長崎   長大レウナ   2月3日   長崎   核異系氏・誤済   核軍船の逆行をいかに克服するか   NPT再検討会議に向け経論   165   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   166   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   167   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   168   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   169   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   169   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   160   2月20日   長崎   核問題を対しまたままままままままままままままままままままままままままままままままままま	137	11月19日	長崎	法王来崎を待つ(上) 朝長万左男さん 核保有国を動かして
140	138	11月25日	西日本	長崎爆心地から発信 教皇「核は守ってくれない」
141   11月29日 長崎 教皇来崎 その意義 帰心地から世界へ直言	139	11月26日	長崎	ながさき時評 「長崎の証言」運動50年 「普通の被爆者」の声 記録
142	140	11月27日	長崎	教皇メッセージに感銘 長崎大で学生ら語り合う
143   12月2日 朝日 ローマ教皇の帰心地訪問 「人間が人間に問うがり   144   12月5日 長崎   国内50大学で原爆展を 市長意向 継承へ21年度から   145   12月5日 長崎   大がサキ・ユース代表団第8判生「思いを行動に移したい」   146   12月7日 長崎   牧皇メッセージに応えたい   147   12月21日   長崎   長崎連絡会結成へ   148   12月23日   長崎   トランブ氏、核戦力強化か   149   12月24日   朝日   RECNA副センター長ら対談 「核兵器」の意味 映画通じ考える   150   12月30日   長崎   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   151   1月8日   長崎   米専門家11日   長崎   大裂ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が講演   152   1月10日   長崎   大裂ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が講演   153   1月12日   長崎   小型核のアジア配備検討 「的外れ」と米専門家   154   1月13日   長崎   所述のアジア配の機能を対した影響   156   2月4日   長崎   グレゴリー・カラーキー氏 米戦析核兵器のアジア配備検討 対中関係の悪化懸念   156   2月4日   長崎   大製・研究」で総括シンボ   15日に長大レクナ   151   1月2日   長崎   大製・研究」で総括シンボ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   年館大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」   158   2月4日   中国   核問題 映画で身近に感じて   長崎大クナ教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の数居高く」   160   2月5日   長崎   長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の数居高く」   161   2月5日   長崎   長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の数居高く」   162   2月8日   長崎   長大レクナ「継承」テーマにシンボ 資料保存、次世代育成が必要   164   2月18日   長崎   長大レクナ「継承」テーマにシンボ 資料保存、次世代育成が必要   164   2月18日   長崎   核軍縮の逆行をいかに克服するか   NPT再検討会議に向け議論   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題の関心 映画きっかけも   授業や講演で作品開会	141	11月29日	長崎	教皇来崎 その意義 爆心地から世界へ直言
144   12月5日   長崎   国内50大学で原爆展を 市長意向   継承へ21年度から   145   12月5日   長崎   ナガサキ・ユース代表団第6期生「思いを行動に移したい」   146   12月7日   長崎   教皇メッセージに応えたい   147   12月21日   長崎   長崎連絡会結成へ   148   12月23日   長崎   トランブ氏、核戦力強化か   149   12月24日   朝日   RECNA副センター長ら対談 「核兵器」の意味 映画通じ考える   150   12月30日   長崎   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   151   1月8日   長崎   米専門家11日   長崎で講演   戦術核のアジア配備は   決裂ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が講演   153   1月12日   長崎   外型核のアジア配備検討 「的外れ」と米専門家   154   1月13日   長崎   緊迫する中東情勢   核問題全般にも影響   155   1月22日   長崎   グレゴリー・カラーキー氏   米戦術核兵器のアジア配備検討   対中関係の悪化懸念   156   2月4日   長崎   「破爆・戦後史研究」で総括シンポ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」   158   2月4日   中国   核問題   映画で身近に感じて  長崎大教授   講演や授業   159   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇末日   RECNA分析 「核兵器使用の敷居高くした」   160   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇核郷地訪問で研究報告 「核使用の敷居高く」   161   2月5日   長崎   長大レクナ 「総兵器使用の敷居高く」   162   2月8日   長崎   長大レクナ 「総承」テーマにシンポ   資料保存、次世代育成が必要   164   2月18日   長崎   核軍縮の逆行をいかに克服するか   NPT再検討会議に向け議論   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題を気軽に語るう   核問題の   映画きっかけも   授業や講演で作品照会	142	11月30日	毎日	原子力利用に先べん
145   12月5日   長崎	143	12月2日	朝日	ローマ教皇の爆心地訪問 「人間が人間に問う」祈り
146   12月7日   長崎   教皇メッセージに応えたい   147   12月21日   長崎   長崎連絡会結成へ   148   12月23日   長崎   トランブ氏、核戦力強化か   12月24日   朝日   RECNA副センター長ら対談 「核兵器」の意味 映画通じ考える   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   151   1月8日   長崎   米専門家11日   長崎で講演   戦術核のアジア配備は   152   1月10日   長崎   小型核のアジア配備検討   「的外れ」と米専門家   153   1月12日   長崎   小型核のアジア配備検討   「的外れ」と米専門家   154   1月13日   長崎   緊迫する中東情勢   核問題全般にも影響   グレゴリー・カラーキー氏   米戦術核兵器のアジア配備検討   対中関係の悪化懸念   156   2月4日   長崎   「被爆・戦後史研究」で総括シンポ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   東縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」   158   2月4日   中国   核問題   映画で身近に感じて  長崎大伊業   159   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇被爆地訪問で研究報告 「核使用の敷居高く」   160   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇被爆地訪問で研究報告 「核使用の敷居高く」   161   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇被爆地訪問で研究報告 「核使用の敷居高く」   162   2月8日   長崎   長大レクナ   根来」テーマにシンポ   資料保存、次世代育成が必要   164   2月18日   長崎   核車縮の避行をいかに克服するか   NPT再検討会議に向け議論   165   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   166   2月20日   長崎   核問題の逆行をいかに克服するか   NPT再検討会議に向け議論   核問題を気軽に語ろう   166   2月20日   長崎   核問題へ関心   映画きっかけも   授業や講演で作品照会	144	12月5日	長崎	国内50大学で原爆展を 市長意向 継承へ21年度から
147   12月21日   長崎   長崎連絡会結成へ   148   12月23日   長崎   トランブ氏、核戦力強化か   12月24日   朝日   RECNA副センター長ら対談 「核兵器」の意味 映画通じ考える   北東アジア平和へ 教材・教育課程を開発   北東アジア平和へ 教材・教育課程を開発   151   1月3日   長崎   米専門家11日   長崎で講演 戦術核のアジア配傭は   152   1月10日   長崎   小型核のアジア【配備検討 「的外れ」と米専門家   153   1月12日   長崎   小型核のアジア【配備検討 「的外れ」と米専門家   154   1月13日   長崎   緊迫する中東情勢 核問題全般にも影響   グレゴリー・カラーキー氏 米戦術核兵器のアジア配備検討 対中関係の悪化懸念   155   1月22日   長崎   グレゴリー・カラーキー氏 米戦術核兵器のアジア配備検討 対中関係の悪化懸念   156   2月4日   長崎   東端大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」   157   2月4日   長崎   東端大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」   158   2月4日   中国   核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業   159   2月5日   長崎   長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」   160   2月5日   長崎   長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」   161   2月5日   長崎   長大レクナ   我東衛会議実現に期待   162   2月16日   長崎   長大レクナ 「継承」テーマにシンボ 資料保存、次世代育成が必要   164   2月18日   長崎   核即題を気軽に語ろう   166   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   166   2月20日   長崎   核問題を関心 映画きっかけも   授業や講演で作品照会	145	12月5日	長崎	ナガサキ・ユース代表団第8期生「思いを行動に移したい」
148   12月23日   長崎   トランブ氏、核戦力強化か   149   12月24日   朝日   RECNA副センター長ら対談 「核兵器」の意味 映画通じ考える   150   12月30日   長崎   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   1月8日   長崎   米専門家11日   長崎で講演   戦術核のアジア配備は   1月10日   長崎   決裂ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が講演   1月12日   長崎   小型核のアジア【配備検討 「的外れ」と米専門家   154   1月13日   長崎   緊迫する中東情勢   核問題全般にも影響   1月13日   長崎   「故爆・戦後史研究」で総括シンボ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   「故爆・戦後史研究」で総括シンボ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   軍縮大使、長崎市長を訪問   レクナ教育事業に「期待」   158   2月4日   中国   核問題   映画で身近に感じて   長崎大教授   講演や授業   159   2月5日   朝日   教皇来日   RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」   160   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇被爆地訪問で研究報告   「核使用の敷居高く」   161   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇・諸の歌居・高く」   162   2月8日   長崎   長大レクナ 「継承」デーマにシンボ   資料保存、次世代育成が必要   164   2月18日   長崎   核軍縮の逆行をいかに克服するか   NPT再検討会議に向け議論   核問題を気軽に語ろう   核問題を気軽に語ろう   核問題を気軽に語ろう   核問題を気軽に語ろう   核問題を気軽に語ろう   核問題を気軽に語ろう   核問題の関心   映画きっかけも   授業や講演で作品照会	146	12月7日	長崎	教皇メッセージに応えたい
149   12月24日 朝日   RECNA副センター長ら対談 「核兵器」の意味 映画通じ考える   150   12月30日   長崎   北東アジア平和へ   教材・教育課程を開発   151   1月8日   長崎   米専門家11日   長崎で講演   戦術核のアジア配備は   152   1月10日   長崎   決裂ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が講演   153   1月12日   長崎   小型核のアジア【配備検討 「的外れ」と米専門家   154   1月13日   長崎   緊迫する中東情勢 核問題全般にも影響   155   1月22日   長崎   グレゴリー・カラーキー氏 米戦術核兵器のアジア配備検討   対中関係の悪化懸念   156   2月4日   長崎   「被爆・戦後史研究」で総括シンポ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   軍縮大使、長崎市長を訪問   レクナ教育事業に「期待」   158   2月4日   中国   核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業   159   2月5日   朝日   教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」   160   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇旅爆地訪問で研究報告   「核使用の敷居高く」   161   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇旅爆地訪問で研究報告   「核使用の敷居高く」   161   2月1日   長崎   長大レクナ   大田の敷居高く   162   2月1日   長崎   長大レクナ   大田の敷居高   大田の敷居高く   163   2月16日   長崎   長大レクナ   大田の敷居   大田の参加・日本	147	12月21日	長崎	長崎連絡会結成へ
150   12月30日   長崎   北東アジア平和へ 教材・教育課程を開発   151   1月8日   長崎   米専門家11日   長崎で講演   戦術核のアジア配備は   152   1月10日   長崎   決裂ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が講演   153   1月12日   長崎   小型核のアジア【配備検討 「的外れ」と米専門家   154   1月13日   長崎   緊迫する中東情勢 核問題全般にも影響   155   1月22日   長崎   グレゴリー・カラーキー氏   米戦術核兵器のアジア配備検討   対中関係の悪化懸念   156   2月4日   長崎   「被爆・戦後史研究」で総括シンポ   15日に長大レクナ   157   2月4日   長崎   軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」   158   2月4日   中国   核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授   講演や授業   159   2月5日   朝日   教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」   160   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」   161   2月5日   長崎   長大レクナ   教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」   162   2月8日   長崎   核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」   162   2月8日   長崎   根底氏が講演 核軍縮会議実現に期待   163   2月16日   長崎   長大レクナ「継承」テーマにシンポ   資料保存、次世代育成が必要   164   2月18日   長崎   核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論   核問題を気軽に語ろう   核問題へ関心 映画きっかけも   授業や講演で作品照会	148	12月23日	長崎	トランプ氏、核戦力強化か
151	149	12月24日	朝日	RECNA副センター長ら対談 「核兵器」の意味 映画通じ考える
152 1月10日 長崎 決裂ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が講演 153 1月12日 長崎 小型核のアジア【配備検討 「的外れ」と米専門家 154 1月13日 長崎 緊迫する中東情勢 核問題全般にも影響 155 1月22日 長崎 グレゴリー・カラーキー氏 米戦術核兵器のアジア配備検討 対中関係の悪化懸念 156 2月4日 長崎 「被爆・戦後史研究」で総括シンポ 15日に長大レクナ 157 2月4日 長崎 軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」 158 2月4日 中国 核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業 159 2月5日 朝日 教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」 160 2月5日 長崎 長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」 161 2月5日 長崎 核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」 162 2月8日 長崎 朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待 163 2月16日 長崎 長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要 164 2月18日 長崎 核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論 165 2月20日 長崎 核問題を気軽に話ろう 166 2月20日 長崎 核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	150	12月30日	長崎	北東アジア平和へ 教材・教育課程を開発
153 1月12日 長崎 小型核のアジア【配備検討 「的外れ」と米専門家 154 1月13日 長崎 緊迫する中東情勢 核問題全般にも影響 155 1月22日 長崎 グレゴリー・カラーキー氏 米戦術核兵器のアジア配備検討 対中関係の悪化懸念 156 2月4日 長崎 「被爆・戦後史研究」で総括シンポ 15日に長大レクナ 157 2月4日 長崎 軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」 158 2月4日 中国 核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業 159 2月5日 朝日 教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」 160 2月5日 長崎 長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」 161 2月5日 長崎 核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」 162 2月8日 長崎 朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待 163 2月16日 長崎 長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要 164 2月18日 長崎 核 種縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論 165 2月20日 長崎 核問題を気軽に語ろう 166 2月20日 長崎 核問題を気軽に語ろう	151	1月8日	長崎	米専門家11日 長崎で講演 戦術核のアジア配備は
154 1月13日 長崎 緊迫する中東情勢 核問題全般にも影響 155 1月22日 長崎 グレゴリー・カラーキー氏 米戦術核兵器のアジア配備検討 対中関係の悪化懸念 156 2月4日 長崎 「被爆・戦後史研究」で総括シンポ 15日に長大レクナ 157 2月4日 長崎 軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」 158 2月4日 中国 核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業 159 2月5日 朝日 教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」 160 2月5日 長崎 長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」 161 2月5日 長崎 核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」 162 2月8日 長崎 朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待 163 2月16日 長崎 長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要 164 2月18日 長崎 核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論 165 2月20日 長崎 核問題を気軽に語ろう 166 2月20日 長崎 核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	152	1月10日	長崎	決裂ならNPT形骸化 レクナの中村准教授が講演
155 1月22日 長崎 グレゴリー・カラーキー氏 米戦術核兵器のアジア配備検討 対中関係の悪化懸念 156 2月4日 長崎 「被爆・戦後史研究」で総括シンポ 15日に長大レクナ 157 2月4日 長崎 軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」 158 2月4日 中国 核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業 159 2月5日 朝日 教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」 160 2月5日 長崎 長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」 161 2月5日 長崎 核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」 162 2月8日 長崎 朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待 163 2月16日 長崎 長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要 164 2月18日 長崎 核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論 165 2月20日 長崎 核問題を気軽に語ろう 166 2月20日 長崎 核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	153	1月12日	長崎	小型核のアジア【配備検討 「的外れ」と米専門家
156       2月4日       長崎       「被爆・戦後史研究」で総括シンポ 15日に長大レクナ         157       2月4日       長崎       軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」         158       2月4日       中国       核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業         159       2月5日       朝日       教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」         160       2月5日       長崎       長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」         161       2月5日       長崎       核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」         162       2月8日       長崎       朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待         163       2月16日       長崎       長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要         164       2月18日       長崎       核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論         165       2月20日       長崎       核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	154	1月13日	長崎	緊迫する中東情勢 核問題全般にも影響
157       2月4日       長崎       軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」         158       2月4日       中国       核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業         159       2月5日       朝日       教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」         160       2月5日       長崎       長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」         161       2月5日       長崎       核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」         162       2月8日       長崎       朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待         163       2月16日       長崎       長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要         164       2月18日       長崎       核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論         165       2月20日       長崎       核問題を気軽に語ろう         166       2月20日       長崎       核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	155	1月22日	長崎	グレゴリー・カラーキー氏 米戦術核兵器のアジア配備検討 対中関係の悪化懸念
158   2月4日   中国   核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業   159   2月5日   朝日   教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」   160   2月5日   長崎   長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」   161   2月5日   長崎   核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演   核軍縮への歩み「非常に悪い状況」   162   2月8日   長崎   朝長氏が講演   核軍縮会議実現に期待   163   2月16日   長崎   長大レクナ「継承」テーマにシンポ   資料保存、次世代育成が必要   164   2月18日   長崎   核軍縮の逆行をいかに克服するか   NPT再検討会議に向け議論   165   2月20日   長崎   核問題を気軽に語ろう   166   2月20日   長崎   核問題へ関心 映画きっかけも   授業や講演で作品照会	156	2月4日	長崎	「被爆・戦後史研究」で総括シンポ 15日に長大レクナ
159 2月5日 朝日 教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」 160 2月5日 長崎 長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」 161 2月5日 長崎 核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」 162 2月8日 長崎 朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待 163 2月16日 長崎 長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要 164 2月18日 長崎 核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論 165 2月20日 長崎 核問題を気軽に語ろう 166 2月20日 長崎 核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	157	2月4日	長崎	軍縮大使、長崎市長を訪問 レクナ教育事業に「期待」
160       2月5日       長崎       長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告「核使用の敷居高く」         161       2月5日       長崎       核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」         162       2月8日       長崎       朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待         163       2月16日       長崎       長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要         164       2月18日       長崎       核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論         165       2月20日       長崎       核問題を気軽に語ろう         166       2月20日       長崎       核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	158	2月4日	中国	核問題 映画で身近に感じて 長崎大教授 講演や授業
161     2月5日     長崎     核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」       162     2月8日     長崎     朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待       163     2月16日     長崎     長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要       164     2月18日     長崎     核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論       165     2月20日     長崎     核問題を気軽に語ろう       166     2月20日     長崎     核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	159	2月5日	朝日	教皇来日 RECNA分析「核兵器使用の敷居高くした」
162     2月8日     長崎     朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待       163     2月16日     長崎     長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要       164     2月18日     長崎     核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論       165     2月20日     長崎     核問題を気軽に語ろう       166     2月20日     長崎     核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	160	2月5日	長崎	長大レクナ 教皇被爆地訪問で研究報告 「核使用の敷居高く」
163     2月16日     長崎     長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要       164     2月18日     長崎     核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論       165     2月20日     長崎     核問題を気軽に語ろう       166     2月20日     長崎     核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	161	2月5日	長崎	核兵器廃絶市民講座 黒澤氏 長崎で講演 核軍縮への歩み「非常に悪い状況」
164     2月18日     長崎     核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論       165     2月20日     長崎     核問題を気軽に語ろう       166     2月20日     長崎     核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	162	2月8日	長崎	朝長氏が講演 核軍縮会議実現に期待
165     2月20日     長崎     核問題を気軽に語ろう       166     2月20日     長崎     核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	163	2月16日	長崎	長大レクナ「継承」テーマにシンポ 資料保存、次世代育成が必要
166 2月20日 長崎 核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会	164	2月18日	長崎	核軍縮の逆行をいかに克服するか NPT再検討会議に向け議論
	165	2月20日	長崎	核問題を気軽に語ろう
167 2月24日 朝日 終末時計 短くなる時間	166	2月20日	長崎	核問題へ関心 映画きっかけも 授業や講演で作品照会
	167	2月24日	朝日	終末時計 短くなる時間
168 │ 2月24日 │ 長崎 │ ICAN川崎氏、長崎で講演 核禁条約の年内発行「可能」	168	2月24日	長崎	ICAN川崎氏、長崎で講演 核禁条約の年内発行「可能」

#### 長崎大学核兵器廃絶研究センター年報2019

番号	日付	新聞	見出し
169	2月25日	長崎	核問題、平和 気軽な感覚で キャラバン隊員ら パネル討議通じ考える
170	3月2日	長崎	核廃絶へ 何を継承すべきか 「長崎被爆・戦後史研究会」総括シンポジウム
171	3月9日	長崎	ドゥワン国連軍縮研究所長 長崎市長と意見交換
172	3月18日	毎日	論点【小型なら」危険な発想
173	3月20日	長崎	長大レクナHPに掲載 北朝鮮非核化へ多国間協議を 米露中韓の専門家が分析・提言
174	3月30日	長崎	県内の研究者グループ 被爆者運動の「歩み」後世へ

## <あとがき> ↑

2019 年度は米国トランプ政権の強硬姿勢と突出ぶりが目立ち、核軍縮にとっては逆風が目立つ一年だった。しかし、2020 年は広島・長崎の被爆から 75 年の節目の年であり、また、NPT の発効から 50 年、無期限延長決定から 25 年の再検討会議の年でもあることから、悲観論の反面、一定の期待感があったことも否定できない。ところがそこに文字通り降ってわいたように発生したのが新型コロナウィルスによる世界的なパンデミックの発生であった。NPT 延長会議はとりあえず 2021 年に開催が延期されたものの、開催に関し確たる見通しが立っているわけではない。また、被爆 75 年関連の多くの行事も延期、中止、縮小あるいは変更を余儀なくされている。

新型コロナウィルスの流行は国際、国内を問わずに多くの混乱をもたらしたが、同時に様々な教訓も与えてくれている。一つは人類全体が直接的な脅威に直面するという経験を共有したことである。新型コロナウィルスと核兵器を同列視すべきかどうかという問題はさておき、「今、私たちの目の前に、人類全体にとっての脅威が存在しており、自分もその当事者である」という意識がグローバルに確認されたことの意味は大きい。「新型コロナウィルス」を「核兵器」に置き換えた時に、それは人々にどのような影響を与えるだろうか。見方によっては、瞬時にして人類を絶滅させうる力を持っている核兵器の方がはるかに深刻な脅威だとも言えるだろう。新型コロナウィルスの蔓延によって共有された危機意識を、核兵器の蔓延に置き換えて、より強い危機感を抱けるような想像力を持つ人々が増えるために、RECNAがどのような貢献ができるのか、被爆75年を迎えて改めて問い直されていると言える。

(広瀬 訓)

## 長崎大学核兵器廃絶研究センター年報2019 2020年9月30日発行

発行所 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 〒852-8521 長崎市文教町 1-14

電話: 095-819-2164 FAX: 095-819-2165 E-Mail: recna\_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/